

MDV-L407W MDV-L407

AV Navigation System

取扱説明書 保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

 DOLBY AUDIO™

Made for
 iPhone | iPod

 DVD
VIDEO™

 SD
XC™

 VICS
WIDE®

 1
SEG

My-Kenwoodのご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwood をご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>

目次



安全上のご注意.....	3	スマートフォン連携	
使用上のご注意.....	6	スマートフォン連携について	43
取扱説明書について	7	本機対応の別売品について	
電源を入れる / 切る.....	8	別売品について.....	44
ディスク、SD カードの出し入れ、パネルの角度調整をする パネルの操作	8	ドライブレコーダー DRV-N530(別売品) を使う	45
パネルにあるボタンの機能		ドライブレコーダー DRV-MN940B (別売品)を使う.....	47
各部の名称とはたらき	9	サブリアカメラ機能を使う	49
すべての機能はこの画面から始まります		バーチャルルームミラー機能を使う.....	50
画面の出しかた.....	10	リアビューカメラを使う	51
ホーム画面の構成.....	11	ETC 車載器 / ETC2.0 車載器を使う...	52
画面 / リストの操作.....	11	付録	
カスタムメニュー.....	12	自車位置の測位精度について	54
サブメニュー	12	地図記号の凡例.....	56
ナビを使っているときに表示される情報		地図のデータベースについて	57
地図の見かたと操作.....	13	iPod について	57
目的地まで道案内をさせる		メディアおよびファイルについて.....	58
ナビゲーション.....	17	ソフトウェア使用許諾契約書	60
地点を登録する		VICS について	62
自宅または地点を登録する	22	故障かなと思ったら.....	64
地点情報を編集する.....	23	特許権 / 著作権 / 商標など	68
文字の入力方法.....	24	主な仕様.....	71
ナビを使いやすいように設定する			
情報・設定	26		
設定データを保存する	30		
地図更新について.....	30		
接続状態の確認			
接続状態を確認する.....	32		
音楽やビデオを楽しむ			
AV 操作.....	33		
音楽 CD を SD カードに録音する	40		
画質を調整する.....	42		

- 本書の画面や操作例は、操作説明用に作成したものです。仕様変更などにより、本書の内容と実際の画面が異なる場合があります。
- “(MDV-XXXのみ)”などは、機能の対象となる機種を表します。




安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

取り付けや配線について

警告



本機は DC12V ⊖ アース車以外で使用しない

火災や故障の原因になります。DC24V 車（大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など）で使用しないでください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

フィルムアンテナは保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。

作業前に必ずバッテリーの ⊖ 端子を外す

外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

**コード類は、運転を妨げないように引き直し固定する**

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

パーキング検出（サイドブレーキ）コードは正しく配線する

正しく配線しないと安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

 **注意****自動車のコンソールに取り付ける**

本機の使用前または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。

**直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない**

機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

**コードの扱いに注意する**

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について **警告****分解・修理および改造はしない**

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るの絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

**音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない**

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない
落雷による感電の原因となります。



ルート案内中でも実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションのルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご依頼してください。

⚠ 注意



本機を車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



可動部やディスク挿入口に手や指を入れない
モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

⚠ 警告



異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本機のサポート情報を役立てよう！

本機の最新情報はこちら

ファームウェアのバージョンアップ情報や地図更新など本機の最新情報を掲載しています。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/>



FAQ (よくあるご質問)

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。

本書の「故障かなと思ったら」と合わせてこちらもおご覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq/>



使用上のご注意

安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、本書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。

安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオなどの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」(→ P.64)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

傷が付いたり文字が消えることがあります。

フィルムアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃する際には、フィルムアンテナを柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布を固くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

オートアンテナ(電動アンテナ装備車)の操作について

車両側のアンテナコントロール端子と本機のアンテナコントロール (ANT CONT) 端子を接続しているときは、本機の電源をオンにするとオートアンテナが伸びます。天井の低い駐車場に入る場合などオートアンテナを下げたいときは、オートアンテナをしまってください。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出る場合があります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがありますが、故障ではありません。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、販売店へ連絡してください。

ナビゲーションについて

- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかつたときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくするとGPSの測位により正しく表示されるようになります。
- 走行中は、安全のため、一部を除く細街路*は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。

- 細街路を走行中の現在地図画面
- 市街地図を表示しているとき
- マップマッチングしていないとき
- 駐車車中

*: 細街路とは、幅員 5.5m 未満の道路のことをいいます。

フロントパネルの安全装置について

パネルの隙間にコードなどの異物を挟んで閉じたときは、安全装置がはたらき、フロントパネルの動作が停止します。この場合は異物を取り除いてから、再度操作してください。

本機にメモリーされた個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合などには、本機に記録された情報（例：登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。

消去は、「システムの初期化」(→ P.29)で行うことができます。

なお、次のデータや設定は「システムを初期化する」では消去できません。個別に消去／解除してください。

● 暗証番号の解除

● SD カードに録音したデータ

当社では未消去のデータの流出による損害等について、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

当社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター（裏表紙）までご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

取扱説明書について

本書の取り扱い情報は以下になります。

取扱説明書（本書）

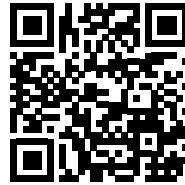
取付説明書（同梱）

取扱説明書<詳細版>（PDF 版）

本書では基本的な操作について説明しています。

詳細な操作方法については、

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/> で型名を選んで「取扱説明書<詳細版>」をご覧ください。



電源を入れる / 切る

電源オン

車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、本機の電源がオンになります。

電源オフ

車両のイグニッションキーを「OFF」にすると、本機の電源がオフになります。



- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときや、バッテリーを交換した場合などには、測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。
- 使用状況や電源電圧の変動などによって、本機の取り付け後に初めて電源をオンにしたときと同じ状態になる場合があります。
- ルート案内の途中で電源をオフにしてもルートは消去されません。次に電源をオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。
- SD カードへの録音中は電源をオフしないでください。録音を停止してから電源をオフにしてください。

パネルの操作

フロントパネルの角度調整やディスク、SD カードの出し入れをします。

- 1 電源を入れてフロントパネルの【▲】（オープンキー）を押す
- 2 設定する項目をタッチする



① フロントパネルの角度調整

光の反射などで画面が見づらい場合などに、ドライビングポジションから見やすいようにフロントパネルの角度を調整します。

② 視野角の調整

フロントパネルの角度を調整しても画面が見えにくい場合は、視野角にタッチして調整します。

③ ディスクの出し入れ

ディスクを入れる

【▲ DISC】をタッチするとフロントパネルが開きます。ディスクを挿入するとパネルは自動で閉じます。

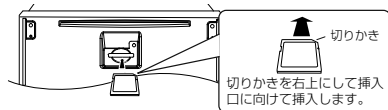
ディスクを取り出す

【▲ DISC】をタッチするとフロントパネルが開いてディスクが排出されます。ディスクを取り出したら【▲】（オープンキー）を押して、パネルを閉じます。

④ SD カードの出し入れ

SD カードを入れる

【フルオープン】をタッチするとフロントパネルが開きます。SD カードを突き当たるまで奥に差し込んで入れてください。



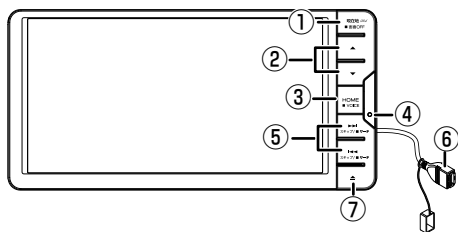
挿入したら【▲】（オープンキー）を押してパネルを閉じます。

SD カードを取り出す

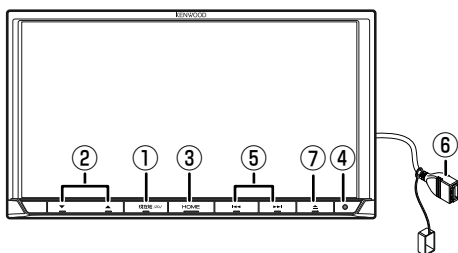
【フルオープン】をタッチするとフロントパネルが開きます。SD カードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。引き出したら【▲】（オープンキー）を押してパネルを閉じます。

各部の名称とはたらき

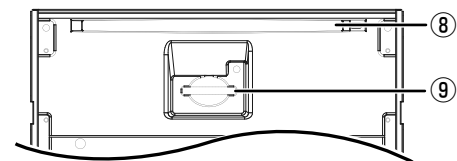
MDV-L407W



MDV-L407



パネルオープン時



① 【現在地 / AV】

- 現在地図画面を表示します。
- 現在地図画面表示中に押しと選択しているソースの AV 画面を表示します。
- 押し続けると、画面の表示がオフになります。

② 【▼】 / 【▲】 (音量キー)

- AV の音量を調整 (0 ~ 40) します。



- 【▲】を押し続けると、連続して音量値が 15 まで上がります。
- ナビゲーションの音声案内中に案内音声の音量を音量キーで調整できるように設定できます。(→ P.27)
- 案内音声の音量は、ナビ設定でも調整できます。(→ P.27)

③ 【HOME】

- ホーム画面を表示します。

④ セキュリティインジケーター

セキュリティインジケーターを ON に設定している場合、電源オフ時に点滅します。

⑤ 【◀▶】 / 【▶▶】 (スキップ / サーチキー)

- FM/AM/ ワンセグ：
放送局を切り替えます。
FM/AM 受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。
- 音楽再生 / ビデオ再生：
前または次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。
押し続けると、早戻し / 早送りします。
- SMART USEN：
お気に入り登録済みのチャンネルに切り替えます。

⑥ USB 端子

USB 機器または iPod/iPhone を接続します。

⑦ 【▲】 (オープンキー)

フロントパネルの角度調整やディスク、SD カードの出し入れを行うためのメニューを表示します。

⑧ ディスク挿入口

ディスクを挿入します。

⑨ SD カード挿入口

SD カードを挿入します。

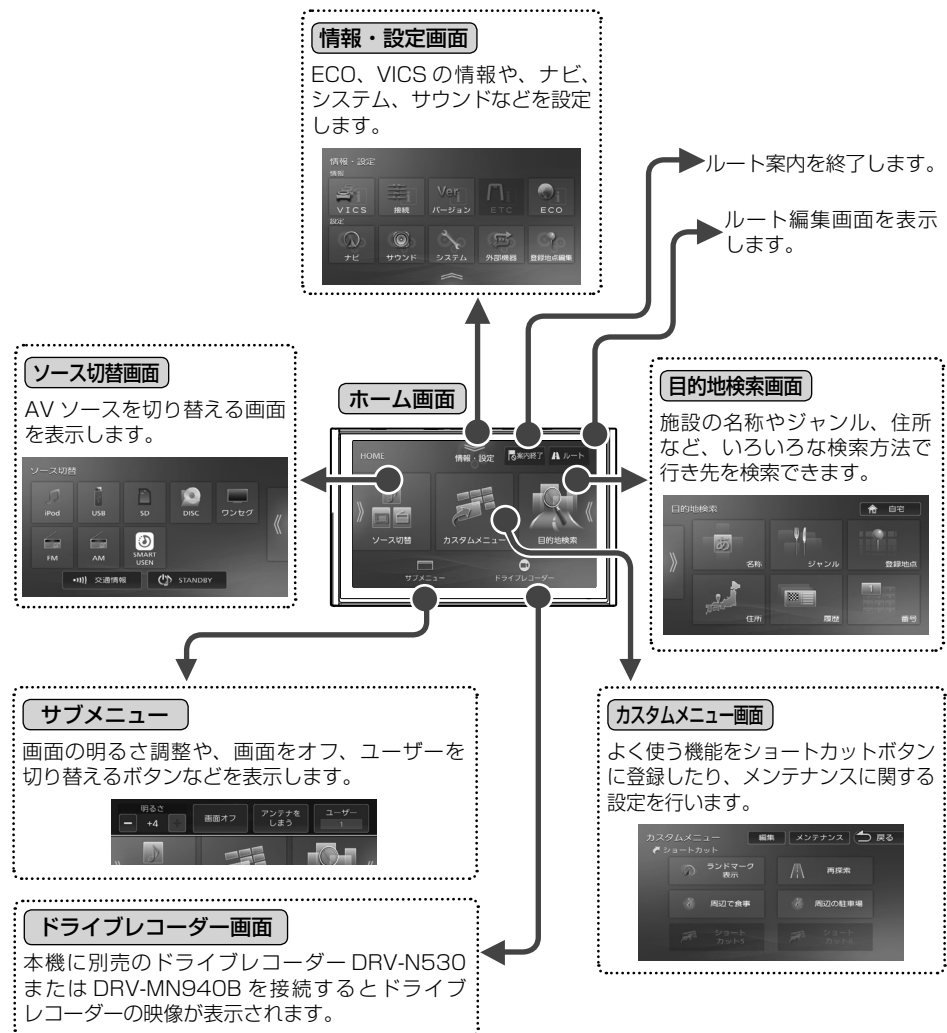
本機のフロントパネルについて

- フロントパネルを閉じているときにパネルに触れると、再度フロントパネルが開きます。
- フロントパネルオープン中に電源をオフ (ACC オフ) にするとフロントパネルは自動的に閉じます。ただし、排出したディスクが残っているときは開いたままとなります。
- フロントパネルオープン中に電源をオフ (ACC オフ) にするとフロントパネルは自動的に閉じますが、このときにフロントパネルに触れてもフロントパネルは開きません。

画面の出しかた

ホーム画面での操作

ホーム画面は、本機を使うためのスタート地点です。ここからさまざまな機能にアクセスします。ホーム画面は、フロントパネルにある【HOME】を押すと、いつでも表示できます。



ホーム画面の構成

ホーム画面は、フロントパネルの【HOME】を押すと、いつでも表示できます。



① 情報・設定

情報・設定画面が表示されます。(→ P.26)
VICs 情報、接続情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。

② 案内終了

ルート案内を終了します。

③ ルート

ルート編集画面が表示されます。(→ P.22)
探索したルートを再探索したり、経由地を変更するなど、ルートの編集ができます。

④ ソース切替

ソース切替画面が表示されます。(→ P.33)
ソース(音源)の切り替えができます。
⑨をタッチまたは⑨から右方向にドラッグしてもソース切替画面が表示されます。

⑤ カスタムメニュー

カスタムメニュー画面が表示されます。(→ P.12)
よく使う設定や機能を登録して呼び出すことができます。

⑥ 目的地検索

目的地検索画面が表示されます。(→ P.17)
行き先や立ち寄る場所など、目的地をいろいろな方法で検索できます。
⑩をタッチまたは⑩から左方向にドラッグしても目的地検索画面が表示されます。

⑦ サブメニュー

サブメニューを表示します。(→ P.12)

⑧ ドライブレコーダー

本機に別売のドライブレコーダー DRV-N530 または DRV-MN940B を接続するとドライブレコーダーの映像が表示されます。

画面 / リストの操作

■ 前の画面に戻る

【戻る】をタッチすると、1 つ前の画面に戻ります。



■ リストの操作

リストでは、上下にスクロールして見たい項目を表示します。

リストのスクロールには、次の 2 つの方法があります。

- ・ スクロールしたい方向にリストをドラッグまたはフリックする。

ドラッグまたはフリックした方向にリストがスクロールします。

フリックしたときは、スクロール中のリストをタッチすると、スクロールを止めることができます。



- ・ リストをページ送りする。

送りたい方向の【▲】【▼】をタッチします。



【▲】【▼】をタッチするとリストの最初 / 最後を表示します。

カスタムメニュー

よく使う機能やメニューをショートカットボタンに登録して呼び出すことができます。

- 1 【HOME】を押して[カスタムメニュー]をタッチする



- ① **メンテナンス：**
車両メンテナンスの設定画面を表示します。
- ② **編集：**
③を編集する画面を表示します。
- ③ **機能ショートカットボタン**

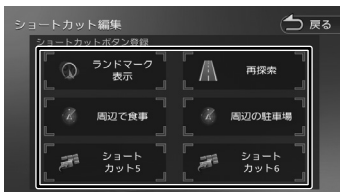
ショートカットボタンを割り当てる

カスタムメニュー画面の機能ショートカットボタンに本機の機能を割り当てます。

- 1 【編集】をタッチする



- 2 機能ショートカットボタンの割り当てたいボタンをタッチする



- 3 リストから機能を選ぶ

サブメニュー

画面の明るさ、画面表示のオフやユーザー切り替え操作などができます。

- 1 【HOME】を押して[サブメニュー]をタッチする



- 2 設定する項目をタッチする



明るさ

画面の明るさを調整します。

画面オフ

画面の表示を消します。

消しているときに画面にタッチすると画面を表示します。

アンテナを伸ばす / アンテナをしまう

オートアンテナが「あり」に設定されていると表示されます。(→ P.28)

オートアンテナを伸ばしたり、しまったりします。

ユーザー

本機は2ユーザー分の設定を保持することができます、タッチするとユーザーを切り替えることができます。

保持できる設定は以下になります。

- 音量設定 (音声案内)
- 地図表示の設定 (地図の向き、縮尺、ランドマーク)
- ユーザー登録地点
- 目的地検索履歴
- マイルルートアジャスター

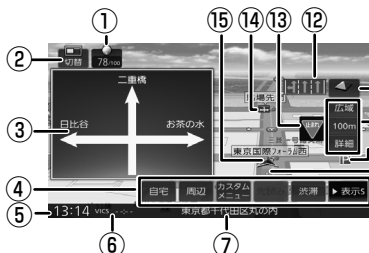


- サブメニューを閉じるには、もう一度[サブメニュー]をタッチします。
- 画面オフのときに時計を表示しないように設定できます。(→ P.28)

地図の見かたと操作

現在地図画面の見かた

フロントパネルの【現在地 / AV】を押すと、現在地周辺の地図が表示されます（現在地図画面）。



- ① **エコ情報：**
エコ情報が点数で表示されます。
- ② **[切替]：**
タッチすると 2 画面表示の設定画面が表示されます。
- ③ **方面看板：**
方面看板情報がある交差点に近づく则表示されます。タッチすると表示を消します。
- ④ **ショートカットボタン：**
タッチすると、ボタンに割り当てられた機能が実行されます。ボタンの表示する数は「表示 S」と「表示 L」で異なります。詳細は 16 ページをご覧ください。
- ⑤ **時計：**
現在の時刻が 24 時間表記で表示されます。本機は GPS 電波を利用して自動で時刻を調整します。
- ⑥ **VICS 情報提供時刻：**
VICS 情報の提供時刻が表示されます。
- ⑦ **現在地情報：**
現在の自転車位置の情報が表示されます。
- ⑧ **走行軌跡：**
これまでの走行軌跡が水色の点で表示されません。走行軌跡は表示しないように設定できます。(→ P.26)
また、走行軌跡のデータを消去することもできます。
- ⑨ **ランドマーク：**
目印となる施設がマークで地図上に表示されます。

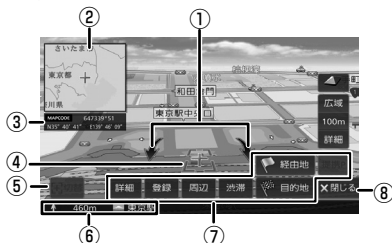
- ⑩ **【広域】 / 【詳細】：**
タッチすると、地図の縮尺を変えることができます。ボタンの間に地図の縮尺が表示されます。縮尺表示にタッチするとスライダーバーが表示され縮尺を変えることができます。
- ⑪ **（コンパスボタン）：**
地図の方位が表示されます。タッチすると、地図の向きと 2D/3D 表示を切り替えることができます。
- ⑫ **レーン情報：**
次の交差点のレーン情報が表示されます。
- ⑬ **（一時停止表示） / （日没ライト案内と警告表示）：**
一時停止情報がある交差点の手前で、一時停止アイコンが表示されます。(→ P.27)
日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、案内または警告が表示されます。(→ P.29)
- ⑭ **案内地点：**
[]：方面看板の案内地点が表示されます。
[]：レーン情報の案内地点が表示されます。
- ⑮ **自転車マーク：**
地図全画面表示で、縮尺が 65m 以上 650m 未満のときに、自転車マークにタッチすると自転車位置の周りの地図が拡大して表示されます。(ワンタッチルーペ)



- 細街路（幅員 5.5m 未満の道路）は、駐停車中または細街路の走行中に表示されます。市街地図の表示中は、常に細街路が表示されます。
- ③、⑫、⑮（ワンタッチルーペ）は表示しないように設定できます。(→ P.27、→ P.26)

スクロール地図画面の見かた

現在地図画面の地図の部分にタッチ、ドラッグ、フリックすると、地図を動かすことができます（スクロール地図画面）。スクロールした後にフロントパネルの【現在地 / AV】を押すと現在地図画面に戻ります。



① 地図回転ボタン：

3Dビュー表示のときに表示されます。タッチするとカーソルを中心に地図を回転できます。

② フライビューマップ：

スクロールした地点を広域地図で表示します。フライビューマップは表示しないようにすることもできます。（→ P.26）

③ マップコードと緯度・経度表示：

マップコードと緯度・経度をそれぞれ表示できます。（→ P.26）
お買い上げ時は表示しない設定になっています。

④ [十字]（カーソル）：

地図画面の中心点に表示されます。

⑤ 【切替】：

同じ地点に複数の地点情報があるとタッチすることができます。タッチするたびに地点情報の表示が切り替わります。

⑥ 地点情報：

カーソルの位置の地点情報（住所や名称など）と現在地への距離と方向（矢印）が表示されます。

⑦ 【提携 P】：

カーソルのあるランドマークに提携駐車場があるとタッチすることができます。タッチすると提携駐車場を目的地に設定できます。

【目的地】 / 【経由地】（経由地は目的地を設定しているときのみ表示）：

この地点を目的地 / 経由地に設定します。

【渋滞】：

VICS 情報画面を表示します。

【周辺】：

周辺の施設を検索します。検索画面では一部の施設で営業時間外の場合、アイコンに「！」マークが表示されます。

【登録】：

この地点を登録します。

【詳細】：

地点詳細情報画面を表示します。

スマートフォンで QR コードを読み取ると、MapFan のサイトに接続し、地点情報や目的地までのルートなどを表示することができます。

⑧ 【閉じる】：

⑦ の表示を消します。

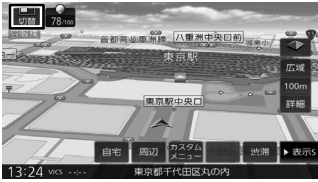


- 施設名や住所、電話番号などの詳細情報は、本機のデータベースから取得できた場合にのみ表示されます。表示される内容は、取得できた情報によって異なります。
- 走行中は詳細情報の名称のみ表示されます。

地図を2画面表示にする

現在地図画面の上に地図、選択しているソースのAV画面またはINFO画面を表示することができます。

1 [切替] をタッチする



2 表示したい項目をタッチする



[地図] :

現在地図画面が表示されます。



[地図& AV] :

現在地図画面に AV 小画面を表示します。



[地図& 地図] :

現在地図画面に地図小画面を表示します。

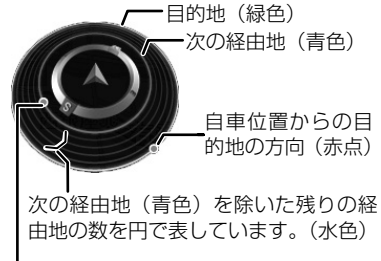


[地図& INFO] :

現在地図画面に INFO 画面を表示します。



- ① 時計：現在時刻を表示します。
- ② カレンダー：
カレンダーを表示します。タッチすると1か月分のカレンダーを表示します。
- ③ 目的地、経由地、自車の方向などを表示



次を経由地 (青色) を除いた残りの経由地の数を円で表しています。(水色)

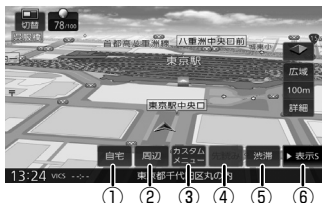
- ④ 車の速度
車のおおよその速度を表示します。実際の速度表示とは異なります。

- ⑤ ECO 情報：
ECO ドライブ評点を表示します。

ショートカットボタンを使う

現在地図画面にショートカットボタンが表示されます。ショートカットボタンは「表示 S」と「表示 L」と表示なしがあります。さらにバーチャルルームミラー機能が使用できるときは、表示されるショートカットボタンが異なります。

■ ショートカット L ボタンを表示時

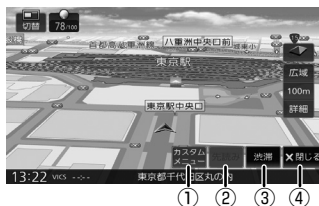


バーチャルルームミラーが使えるとき



- ① **【自宅】**：
自宅へ帰るルートを探索します。自宅を登録していない場合は自宅を登録することができます。
- ② **【周辺】**：
現在地の周辺にある施設の検索や、地点情報を表示します。検索した施設を目的地に設定することもできます。
検索画面では一部の施設で営業時間外の場合、アイコンに「！」マークが表示されます。
- ③ **【カスタムメニュー】**：
カスタムメニューを表示します。(→ P.12)
- ④ **【先読み】**：
ルート案内中にタッチすると案内先読みガイドを表示します。
- ⑤ **【渋滞】**：
VICs 情報画面を表示します。
- ⑥ **【表示 S】**：
ショートカット S ボタンを表示します。
- ⑦ **【V. ルームミラー】**：
このボタンは、外部機器設定の [バーチャルルームミラー] 設定が [ON] に設定されている (お買い上げ時は ON です。) とときに、別売のドライブレコーダーまたは別売のリアビューカメラのどちらか、または両方を接続していると、この位置に表示されます。タッチするとバーチャルルームミラー映像に切り替わります。(→ P.50)

■ ショートカット S ボタンを表示時



バーチャルルームミラーが使えるとき



- ① **【カスタムメニュー】**：
カスタムメニューを表示します。(→ P.12)
- ② **【先読み】**：
ルート案内中にタッチすると案内先読みガイドを表示します。
- ③ **【渋滞】**：
VICs 情報画面を表示します。
- ④ **【閉じる】**：
ショートカット S ボタンの表示を閉じて [表示 L] のみが表示されます。[表示 L] をタッチするとショートカット L ボタンを表示します。
- ⑤ **【V. ルームミラー】**：
このボタンは、外部機器設定の [バーチャルルームミラー] 設定が [ON] に設定されている (お買い上げ時は ON です。) とときに、別売のドライブレコーダーまたは別売のリアビューカメラのどちらか、または両方を接続していると、この位置に表示されます。タッチするとバーチャルルームミラー映像に切り替わります。(→ P.50)



- バーチャルルームミラーに必要な別売のドライブレコーダー、リアビューカメラは 44 ページの「別売品について」をご覧ください。
- リアビューカメラは、接続していても接続設定が [なし] 以外に設定される (→ P.29) と [V. ルームミラー] が表示されますが、タッチしても何も表示されません。

ナビゲーション

ナビゲーションの流れ

ナビゲーション機能の使用方法を流れに沿って説明します。

1 【HOME】を押して[目的地検索]をタッチする



2 目的地を検索する



【名称】

施設の名称で行き先を探します。さらにエリア指定やジャンルで絞り込んで行き先を探すこともできます。

名称で行き先を探すと地図画面にピンが表示されます。この画面の操作は18ページをご覧ください。

【住所】

住所から目的地を探します。

【ジャンル】

食事や買い物などジャンル、エリアを指定して行き先を探します。

ジャンルで行き先を探すと地図画面にピンが表示されます。この画面の操作は18ページをご覧ください。

【履歴】

いままでにルートを探した行き先から探します。

【自宅】

現在地から自宅に帰るルートを探して、ルート案内を開始します。

あらかじめ自宅の登録が必要です。(→ P.22)

【登録地点】

本機に登録した場所(登録地点)から行き先を探します。(→ P.22)

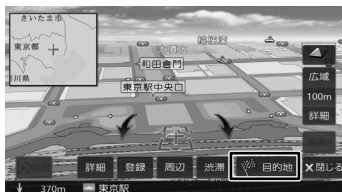
【番号】

電話番号、郵便番号、マップコード、または緯度/経度を入力して行き先を探します。



- 目的地検索の周辺検索、ジャンル検索、名称検索、電話番号検索、提携駐車場検索では、検索した施設が営業時間外の場合「！」マークを表示します。
- 営業時間外表示ができるジャンルは、駐車場、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファーストフード、回転寿司です。
- 隔週定休日、不定期な休日や営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- 営業時間のデータがない施設の場合は、営業時間外の「！」マークを表示できません。
- 実際の営業時間は各施設にお問い合わせください。
- 本機で表示、入力する緯度経度は日本測地系に基づくものです。

3 [目的地]をタッチする



ルート探索が始まります。



- すでに目的地を設定している場合は、[経由地] ボタンが表示されます。タッチすると経由地として設定されます。

4 ルートの探索条件をタッチする



【推奨】

本機が推奨するルートです。

【距離】

走行距離ができるだけ短くなるルートです。

【高速】

高速道路を優先的に通るルートです。

【一般】

一般道路を優先的に通るルートです。

【高速 / 距離】

高速道路（有料道路）を優先的に通り、一般道路では走行距離ができるだけ短くなるルートです。

【全行程】

すべての条件でルートを探索します。各条件のルートと比較することができます。

【ルート情報】

選択した探索条件のルート上にある施設や道路の名称、距離などの情報を表示します。

【スケール調整】

地図を拡大、縮小、スクロールできる画面を表示します。[戻る] をタッチすると元の画面に戻ります。

【到着順変更】

経由地を設定したときに到着順を変更することができます。

入神田橋 / 田あきる野

利用するインターチェンジを変更します。有料道路を使用するときに表示されます。

【マイルートアジャスター】

探索の詳細条件を選択し、マイルート 1～3 に設定することができます。(→ P.19)

5 【案内開始】 をタッチする



ルート案内が開始されます。

ルート案内中の画面は 20 ページをご覧ください。

ルート案内の中止（終了）(→ P.21) や再探索はルート編集画面で行います。(→ P.22)



- 本機ではカーナビ連携アプリケーション「NaviCon」と連携するとアプリケーションで設定した地点を本機で行き先として設定することができます。(→ P.43)

■ 名称またはジャンル検索の操作

名称、ジャンルから検索した場合は、以下の操作を行ってから 17 ページの手順 3 に進んでください。

1 【前へ】 / 【次へ】 をタッチして、目的の施設を選ぶ

【前へ】 / 【次へ】 をタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が 1 件のときは、【前へ】 / 【次へ】 は表示されません。



【リスト】:

リストから施設を選ぶことができます。



- 地図をスクロールして【この地点を選択】をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

2 【このピンを選択】 をタッチする



17 ページ手順 3 へ

探索条件の詳細設定をする (マイルトアジャスター)

1 [マイルトアジャスター] をタッチする



2 探索条件を登録したいマイルト 1～3のいずれかをタッチして (①) 設定したい項目をタッチして (②) 調整する (③)



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
有料優先	低～中* ～高 (5段階)	有料道路を使った探索をするときに有料道路を優先して使うかどうかを設定します。
道幅優先	狭い～ 広い (5段階)	狭い道幅を優先するか広い道幅を優先するかを設定します。お買い上げ時の設定は「狭い」と「広い」の中間です。
渋滞回避	0～1* ～3 (4段階)	0：渋滞回避しません。 1：渋滞回避を多少優先します。 2：渋滞回避を優先します。 3：渋滞回避を積極的に優先します。
踏切考慮	低～中* ～高	踏切の少ないルートを優先するかどうかを設定します。
信号考慮	ON*/ OFF	信号の少ないルートを優先するかどうかを設定します。

項目	設定	説明
ルート学習	ON*/ OFF	自宅から半径 3km 以内でナビが案内するルートと違うルートを数回走行していると、実際に走るルートをナビが学習します。この学習結果をルート探索時に使用するかどうかを設定します。 [学習の初期化] をタッチするとメッセージが表示されます。[はい] をタッチすると学習したルートの初期化が開始されます。

*：お買い上げ時の設定です。

3 [再探索] をタッチする



ルートを再探索します。



- ナビ設定からも設定することができます。(→ P.27)

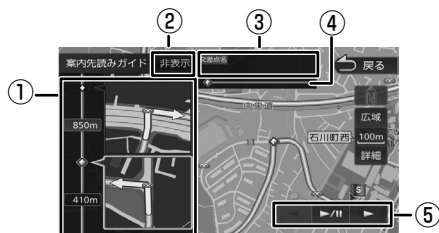
案内先読みガイド表示

次の案内ポイントから目的地までの最大 99 案内ポイントを見ることができます。
また、案内先読みガイド内のルートを、地図をスクロールして表示することができます。(オンルートスクロール)

1 [先読み] をタッチする



案内先読みガイドが表示されます。



① 案内先読みガイド

画面下から上にスクロールすると次の案内ポイントから目的地までの最大 99 案内ポイントが 2 ポイントずつ表示されます。

② [非表示]

案内先読みガイドの表示を消します。消すと [非表示] は [表示] になります。[表示] をタッチするとガイドを表示します。

③ 交差点名

①の案内ポイントに交差点名情報があるときに表示します。上段に①の上の交差点名、下段に①の下の交差点名を表示します。

④ プログレスバー

案内先読みガイド表示 (最大 99) 全体の、どのあたりのガイド表示かを表します。

⑤ オンルートスクロール操作ボタン

ボタン	説明
	探索したルートに沿って、順方向へスクロールします。
	探索したルートに沿って、逆方向へスクロールします。
	オンルートスクロール中にタッチすると一時停止します。一時停止中にタッチすると一時停止する前の状態に戻ってオンルートスクロールを再開します。



- オンルートスクロール中に地図の拡大、縮小または地図のスクロールをすると一時停止します。

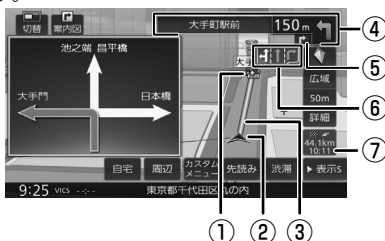
ルート案内中画面の見かた

ルート案内中は、案内ルートのほか、案内ポイントや交通情報など、さまざまな情報が地図に表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

一般道路でのルート案内

一般道路でのルート案内には次の情報が表示されます。



① ◆案内ポイント

② 自車位置マーク

③ 案内ルート

目的地または経由地までのルートです。道路の種類(一般道/高速道路/細街路)によって色分けして表示されます。

④ 次案内ポイント情報

次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

⑤ 次々案内ポイント情報

次案内ポイントからさらに次の案内ポイントが近い場合は、その案内ポイントの進行方向が表示されます。

⑥ レーン情報表示

- (白色矢印) : 案内レーン
- (水色矢印) : 推奨通過レーン

⑦ 到着予想時刻と距離

対象の行き先(次の経由地または目的地)への到着予想時刻と距離が表示されます。経由地が設定されている場合は、このボタンにタッチするたびに、対象の行き先が切り替わります。

高速道路でのルート案内

高速道路でのルート案内中は、自動的にハイウェイモード画面が表示されます。



① ハイウェイモードボタン

ハイウェイモード画面が表示されていないときにタッチすると、ハイウェイモード画面を表示します。

② ハイウェイモード画面

高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。

③ 施設名称 / 施設案内表示

進行方向にあるインターチェンジ (IC) / ジャンクション (JCT)、サービスエリア (SA)、パーキングエリア (PA)、料金所の名称と距離、通過予想時刻、各施設の設備が表示されます。

SA・PA の場合は、タッチすると詳細情報が表示されます。

施設情報に表示される設備のマークは、最大 4 個です。

④ 交通情報表示

施設間の交通情報が表示されます。

橙色：混雑 赤色：渋滞

⑤ 規制情報表示

車線規制などの情報 (VICS 情報規制表示) が 3 件までマークで表示されます。

マークにタッチすると詳細情報を表示します。

情報が複数あるときはリストが表示されます。見たい情報にタッチすると詳細情報を表示します。

⑥ スクロールボタン / 現区間

ハイウェイモード画面内の施設情報をスクロールします。スクロールすると [現区間] ボタンが表示されます。[現区間] をタッチすると、施設情報が現在地に近い施設に戻ります。

⑦ [閉じる]

ハイウェイモード画面を閉じます。

①にタッチすると再度表示します。

⑧ 自車マーク

⑨ 案内ルート



- ハイウェイモード画面は、ルート案内中だけでなく、高速道路を走行中に表示されます。ただし、高速道路によってはハイウェイモード画面が表示されない場合があります。

案内を終了する

ルート案内中に案内を終了します。

1 【HOME】を押して【案内終了】をタッチする



メッセージが表示されます。

2 【はい】をタッチする

ルート案内が終了し、現在地図画面が表示されます。



- ルート案内を終了しても、スタート地点、経由地、目的地の旗は消えません。旗を消したい場合は、新たにルート案内を開始するか、本機の電源を入れなおしてください。

ルート編集

ルートの編集ができます。

- 1 【HOME】を押して[ルート]をタッチする



- 2 項目をタッチする



【再探索】

現在地から、探索条件（推奨、距離、高速、一般、高速 / 距離）を変更して、ルートを再探索します。

【到着順変更】

経由地の順番の入れ替え、削除など、ルートの編集ができます。

【ルート表示】

ルートの全体地図と情報を表示します。



【ルート情報】

ルート上にあるインターチェンジ、道路の名称、距離などの情報を表示します。ただし、ルートによっては目的地までの情報すべては表示されない場合があります。

【デモ走行】

地図やルート、画面表示や音声でのルート案内を確認することができます。

【目的地表示】

目的地、経由地付近の地図を表示できます。

自宅または地点を登録する

地点を本機に登録することができます。自宅を登録すると、お出かけ先から自宅までのルート案内を簡単にはじめることができます。地点は 300 件まで（自宅を含む）登録できます。

- 1 自宅の場所または登録したい地点にカーソルを合わせて、[登録]をタッチする



- 2 自宅の場合は【自宅】をタッチする
それ以外の場合は登録先のグループ名をタッチする



- 3 【決定】をタッチする



この画面で名称を編集することができます。文字の入力方法は 24 ページをご覧ください。



- 名称は、後からでも編集することができます。(→ P.23)
- 「自宅」を変更したいときは、新たに「自宅」を登録します。登録すると確認メッセージが表示され、「はい」をタッチすると変更されます。先に「自宅」として登録されていた地点は「未分類」グループに変更されます。
- 「自宅」は 1 か所のみ登録できます。

地点情報を編集する

登録した地点の名称、電話番号、グループを編集します。自宅は名称と電話番号を編集することができます。

1 【HOME】を押して[情報・設定]をタッチする

2 [登録地点編集]をタッチする



3 [登録地点編集]をタッチする



4 編集したい地点のグループ名をタッチする



5 編集したい地点をタッチする



6 編集したい項目をタッチする



- **名称を編集する**
名称欄をタッチして名前を入力し、[決定]をタッチします。
- **グループを変更する**
グループ欄をタッチして設定したいグループにタッチします。
- **電話番号を設定および変更する**
電話番号欄をタッチして電話番号を入力し、[決定]をタッチします。



- 登録地点の住所は編集できません。
- 電話番号は15文字まで入力できます。
- 電話番号のハイフン「-」は省略することもできます。
- 「自宅」が登録されているときに、別の地点をグループ変更で「自宅」に登録しようとするすると確認メッセージが表示されます。
- 名称には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数、記号で48文字まで入力できます。

文字の入力方法

入力方法を切り替える

文字の入力方法をキーボード形式と携帯電話のようなテンキー形式に切り替えます。

1 [入力切替] をタッチする



文字の種類を切り替える

1 切り替える文字の種類をタッチする



タッチするたびに、かな（ひらがな）/ カナ（カタカナ）/ 英数（英字 / 数字）/ 記号に切り替わります。

[小文字] :

小文字に切り替わります。

[半角] :

半角英数字または記号に切り替わります。

キーボード形式で文字を入力する

画面のキーボードを使って文字を入力します。ひらがな、カタカナ入力の場合は、漢字に変換することもできます。

1 文字を選んでタッチする



2 変換する場合は、[変換] をタッチする



[無変換] :

文字を変換せず、入力した状態で確定します。

3 変換候補リストから単語を選んでタッチする



文字の変換結果が確定されます。

4 [決定] をタッチする



テンキー形式で文字を入力する

1 文字を選んでタッチする



■フリック入力

例：「い」を入力する場合

[あ]をタッチして左側にはらいます。

例：「あい」を入力する場合

[あ]をタッチします。

その後、[あ]をタッチして左側にはらいます。

■トグル入力

例：「い」を入力する場合

[あ]を素早く2回タッチします。

例：「あい」を入力する場合

[あ]をタッチします。

その後、[あ]を素早く2回タッチします。

2 変換する場合は、[変換]をタッチする

[無変換]：

文字を変換せず、入力した状態で確定します。

3 変換候補リストから単語を選んでタッチする

文字の変換結果が確定されます。

4 [確定]をタッチして[決定]をタッチする



- ◀ または ▶ をタッチして消去したい文字の右側にカーソルを移動して ◀ BS をタッチすると一文字を消すことができます。
- ◀ BS をタッチし続けると、入力した文字列が全消去されます。

情報・設定

情報・設定画面

情報・設定画面では、VICS 情報、ETC 情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。

1 【HOME】を押して【情報・設定】をタッチする



情報・設定画面が表示されます。

2 項目をタッチする



【VICS】

VICS 情報を表示します。

【接続】

本機に接続されている機器の接続状態や GPS の受信状態などを表示します。(→ P.32)

【バージョン】

本機に収録されている各種データのバージョン情報を表示します。

【ETC】

本機に接続されている ETC 機器の履歴や情報を表示します。

【ECO】

エコドライブ情報を表示します。

【ナビ】

ナビゲーションに関する設定を行います。

【サウンド】

バランスやイコライザーなどサウンドに関する設定を行います。(→ P.28)

【システム】

システムに関する設定を行います。(→ P.28)

【外部機器】

本機に接続する外部機器に関する設定を行います。(→ P.29)

【登録地点編集】




登録地点の編集を行います。(→ P.23)

ナビ設定

*: お買い上げ時の設定です。

● 地図

地図の表示に関する設定ができます。

項目	設定
地図色 / 文字サイズ	地図色: 1*/2/3 文字サイズ: 小 / 中* / 大 地図色昼夜切替: 昼色に固定 / 夜色に固定 / 自動*
ランドマーク表示	表示したい項目にチェックマークを付けます。[表示オフ] をタッチするとチェックが付いている項目も含めて表示しません。
登録地点表示	
自転車マーク	 * /  / 
走行軌跡の表示	ON*/OFF
走行軌跡を消去	本機に記憶されている走行軌跡を消去します。
地図の向き	ノースアップ / ヘディングアップ / 3D ビュー*
地図の向き (小画面)	ノースアップ / ヘディングアップ / 3D ビュー*
フライビューマップ表示	ON*/OFF (→ P.14)
ワンタッチルーペ	ON*/OFF (→ P.13)
市街地図の表示縮尺	50m 以下 / 100m 下*
盗難多発地点表示	ON*/OFF 縮尺が 200m 以下の地図表示のとき、盗難が多発している場所を赤色、橙色、黄色で区分し表示します。
冠水注意地点表示	ON*/OFF • 縮尺が 200m 以下の地図表示のとき、豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある場所を表示します。 • 冠水注意地点表示は一部地域を除く都道府県で表示対応しています。
マップコード表示	ON/OFF*
緯度・経度表示	ON/OFF*

● 案内

ルート案内に関する設定ができます。

項目	設定
案内中の音量調整	ON/OFF* 音声案内中は音量キーでも案内音声の音量調整ができるようになります。
案内音声の音量	1 ~ 25* ~ 40
案内音声音量の車速連動	ON*/OFF 車速に応じて、案内音声の音量を自動で調整するかどうかを設定します。
案内警告音の出力	ON*/OFF
ルート案内音声の出力	ON*/OFF
合流 / 踏切 / 車線案内音声の出力	常に OFF / ルート案内時のみ ON / 常に ON*
一時停止の音声案内	常に OFF / ルート案内時のみ ON / 常に ON*
一時停止の表示	常に OFF / ルート案内時のみ ON / 常に ON*
ETC 音声の出力 *1	ON*/OFF
ETC 料金の表示 *1	ON*/OFF
レーン情報の表示	ON*/OFF
方面看板の表示	ON*/OFF
高速道分岐イラストの表示	ON*/OFF
交差点案内図の表示	ON*/OFF
ここです案内表示	OFF / 一般道のみ ON*/ON
ここです案内の自動消去	ON*/OFF 「ON」に設定すると案内ポイントの50m手前(高速道路では300m手前)で、ここです案内を消去します。交差点案内図の表示が「ON」に設定されているときは、自動的に交差点案内図の表示に切り替わります。
ETC レーンの表示	ON*/OFF
信号情報案内 (TSPS) の表示 *2	ON*/OFF 信号情報案内 (TSPS) を使用するかどうかを設定します。
盗難多発地点音声案内	ON*/OFF
AV 画面時の地図割り込み	ON*/OFF AV 画面表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込ませるかどうかを設定します。

項目	設定
バーチャルルームミラー時の地図割り込み *3	ON*/OFF

*1：別売の本機対応 ETC 車載器または本機対応の ETC2.0 車載器が接続されているときに設定できます。

*2：別売のケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応 ETC2.0 車載器 ETC-N7000 を接続しているときに設定できます。

*3：別売のドライブレコーダー (DRV-MN940B) またはリアビューカメラを接続しているときに使用します。別売のリアビューカメラについては 44 ページをご覧ください。

● 探索

ルート探索に関する設定ができます。

項目	設定
優先する探索条件	推奨*、距離、高速、一般、高速 / 距離
マイルルートアジャスター	探索の詳細条件を選択し、マイルルート 1 ~ 3 に設定することができます。(→ P.19)
スマート IC 考慮	ON/OFF*
目的地の横付けを考慮した探索	ON*/OFF 目的地の施設が道路の反対側などに来ないように横付けまで考慮した探索を行うかどうかを設定します。
フェリーを利用した探索	ON/OFF*

● 交通情報

項目	設定
VICS 情報表示	表示する VICS 情報を設定します。また情報の割り込み表示をするかしないかなどの設定もできます。
図形情報の割り込み表示	
文字情報の割り込み表示	
ETC2.0 優先情報の割り込み表示	
ETC2.0 一般情報の割り込み表示	
割り込み表示の時間	
ETC2.0 アップリンク	

● その他

現在地修正や更新用の SD カードの作成ができます。

項目	設定
NaviCon 友達マップ	カーナビ連携アプリケーション「NaviCon」で使用します。(→ P.43)
車両ナンバー	軽 / 5・7*/3/1
現在地修正	自車位置や向きがずれたときに、地図上の自車位置と向きを修正します。
地図更新プログラム	地図の更新用の SD カードを作成します。
オービス更新プログラム	オービスの更新用の SD カードを作成します。

サウンド設定



- サウンドの設定は AV ソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ (STANDBY) のときは、サウンドの設定はできません。
- パッセージャースリープ機能をオンしているときは、サウンドの設定はできません。(→ P.33)
- FM/AM ラジオ、ワンセグ、交通情報ソース画面で [クリアボイス] にチェックを付けているときは、イコライザーの設定はできません。

*: お買い上げ時の設定です。

項目	設定
リスニング設定	リスニングポジションを設定します。
イコライザー	音質を設定します。
バランス / フェーダー	左右 / 前後の音量バランスを設定します。
音質・音場効果	ミュージックパスブースト / ミュージックラウドネス / Drive Equalizer + / リアライザー / サウンドライザーを設定することができます。
スピーカー	スピーカーの構成と車両タイプを設定します。
ソースレベル	+5 ~ 0* ~ -5 各 AV ソースの音量をそろえます。

システム設定

*: お買い上げ時の設定です。

● AV

音声案内時の AV 音量など、音量に関する設定ができます。

項目	設定
案内音声出力時の AV 音量	そのまま / 下げる * / 消音
リバース時の AV 音量 ダウン	ON*/OFF 車両をバックするときに AV ソースの音量を下げるかどうかを設定します。
スターターボリューム	動作しない* / 更新間隔: 速 / 更新間隔: 中 / 更新間隔: 遅
ゴールオートボリューム	ON/OFF* 目的地の残り距離、および自宅近くの距離に応じて音量を自動で下げていきます。

● 表示

項目	設定
ディマー	OFF/ON / イルミ連動* / 時刻連動
映像画面の時計表示	ON*/OFF
消灯画面の時計表示	ON*/OFF

● 車両

オートアンテナ、ステアリングリモコンの設定ができます。

項目	設定
オートアンテナ	あり / なし* オートアンテナを装着しているときに設定してください。(→ P.12)
ステアリングリモコン	ステアリングリモコンを使用するときに設定します。お使いの車メーカーを選択してください。お使いの車メーカーに合わせたステアリングリモコンキーの割り当てを設定します。 ユーザー独自のキーを割り当てたい場合は [ユーザー学習] を選択して [ステアリングリモコン学習] をタッチして割り当てを行ってください。
ステアリングリモコン学習	ステアリングリモコンの動作を設定します。
ハンドル	左 / 右* パッセージャースリープ機能で運転席のみ音を出すため、運転席の位置を設定します。

● 一般

SDカードの初期化、暗証番号の登録、変更などができます。

項目	設定
操作音の出力	ON*/OFF 操作音の出力をするかしないかを設定します。
ショートカットボタン登録	ショートカットボタンに機能を登録します。(→ P.12)
暗証番号登録	本機の起動のための暗証番号を設定します。
暗証番号解除	設定した暗証番号を解除します。
暗証番号変更	設定した暗証番号を変更します。
セキュリティインジケータ	ON/OFF* 本機の電源をOFF (ACC OFF)にしたときにセキュリティインジケータを点滅させるかどうかを設定します。
リフレッシュ通知	ON*/OFF 運転開始から(本機が電源オン状態のままで)90分ごとに「そろそろ90分になります。休憩しませんか?」と音声で通知されます。
日没ライト案内/警告音声案内	ON*/OFF 日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、音声で案内または警告をするかどうかを設定します。
日没ライト案内/警告表示	ON*/OFF 日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、案内または警告を表示するかどうかを設定します。
SDカード初期化	SDカードを初期化します。SDカード内のすべてのデータが消去されます。

● 特別

設定の初期化や、ユーザー切替などを行います。

項目	設定
オープンソースライセンス	ライセンスを表示します。
ユーザー切替	2ユーザー分の設定を保持し、切り替えることができます。
設定データの書き出し	設定データの書き出し、読み込みを行います。(→ P.30)
設定データの読み込み	
システムの初期化	タッチするとメッセージが表示されます。[はい] をタッチします。暗証番号の設定とSDカードに録音した曲は消去されません。

外部機器設定

*: お買い上げ時の設定です。

● カメラ

項目	設定
リアカメラ接続	なし*/汎用カメラ/専用カメラ(コントロール機能付) リアビューカメラの接続を設定します。(→ P.51)
リアカメラ調整	専用カメラの調整を行います。汎用カメラの場合はガイド線を調整します。

● その他

項目	設定
ETC2.0接続	なし/タイプA/タイプB* ETC2.0車載器の接続を設定します。設定は次回起動時から有効になります。設定後は本機の電源を入れ直してください。(→ P.52)
バーチャルルームミラー※1	ON*/OFF 現在地図画面からドライブレコーダーのリア映像またはリアビューカメラの映像に切り替えるかどうかを設定します。
サブリアカメラ※2	ON/OFF* シフトレバーを「R」(リバース)にしたときに、リアビューカメラの補助としてドライブレコーダーのリア映像に切り替えるかどうかを設定します。
スマートフォン置き忘れ警告	ON*/OFF iPhoneをUSB接続しているときに、本機の電源をオフにすると「携帯電話を忘れていませんか?」と音声案内を行います。

※1: 別売のドライブレコーダー(DRV-MN940B)または別売のリアビューカメラ(CMOS-C320/CMOS-C230W/CMOS-C230/CMOS-320/CMOS-230W/CMOS-230)接続時に使用します。

※2: 別売のドライブレコーダー(DRV-MN940B)接続時のみ設定できます。

設定データを保存する

本機にSDカードを挿入して、本機の設定をSDカードに保存することができます。保存したデータは読み込むこともできます。保存できる項目については<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/>で型名を選んで「取扱説明書<詳細版>」をご覧ください。

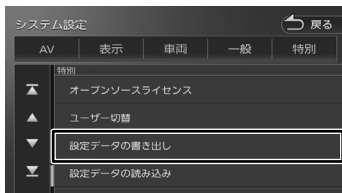
1 [HOME] を押して [情報・設定] をタッチする



2 [システム] をタッチする



3 「特別」の「設定データの書き出し」をタッチして、「はい」をタッチする



SDカードに保存されると自動で再起動します。書き出したデータを読み込むときは「設定データの読み込み」をタッチします。読み込みが終了すると自動で再起動します。

地図更新について

開通した道路情報の更新

高速道路や主要道路などで新しい道路が開通した際に本機の道路情報を更新することができます。詳細は<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/>をご覧ください。

KENWOOD MapFan Club を利用して地図を更新する

KENWOOD MapFan Club のサービスとは

「KENWOOD MapFan Club」は、インクリメントP 株式会社が提供するサービス「MapFan」とKENWOODのカーナビが連動した会員制地図更新サービスプログラムです。

サービスの詳細や会員登録については、同梱のKENWOOD MapFan Clubに関するお知らせをお読みください。

また、当社ホームページからもご覧になれます。
https://www.kenwood.com/jp/faq/ce_navi/mapfan/

また、オービスデータのSD版またはデータダウンロード版をお得に購入することもできます。オービスデータの購入については当社ホームページをご覧ください。https://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option/orbis/

会員登録は本機に表示されるQRコードを使って会員登録できます。

QRコードを使ってKENWOOD MapFan Clubに登録する



- あらかじめ、スマートフォンにQRコード読み込みアプリケーションのインストールが必要です。

1 【HOME】を押して【情報・設定】をタッチする



2 【ナビ】をタッチする



3 「その他」の【地図更新プログラム】をタッチする



4 画面に表示されているQRコードをスマートフォンで読み取る

「KENWOOD MapFan Club」会員登録サイトにアクセスします。画面に従って会員登録を行ってください。



- カーナビ登録に使用する「モデル名」と「シリアル番号（製造番号）」はQRコード表示画面（手順4）に表示されます。

接続状態を確認する

1 [HOME] を押して [情報・設定] をタッチする



情報・設定画面が表示されます。

2 [接続] をタッチする



接続情報が表示されます。



表示または設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
リバース信号	リバース検出コードの接続状態を表示します。
パーキングブレーキ	パーキング検出コードの接続状態を表示します。
イルミネーション	イルミネーションコードの接続状態を表示します。
GPS	GPS アンテナの接続状態を表示します。 正しく接続されている場合は、測位状態を表示します。
車速パルス	車速パルスの値を表示します。 [デジタル] または [アナログ] をタッチすると、パルス入力モードを切り替えます。

項目	説明
センサー学習	センサーの学習状態を表示します。 [初期化] をタッチすると、センサーの学習を初期化します。
専用カメラ	専用リアカメラが接続されたときに接続状態を表示します。 リア： リアカメラが接続されています。
ドライブレコーダー	ドライブレコーダーの接続状態を表示します。
ETC 車載器	ETC 車載器の接続状態を表示します。
ETC2.0 車載器	ETC2.0 車載器の接続状態を表示します。 接続中： ETC2.0 車載器を接続しているときに表示します。 接続中＋光： ETC2.0 が光ビーコンに対応しているときに表示します。



- 「センサー学習」の [初期化] は、タイヤを交換したときなどに使用してください。
- ETC2.0 車載器を接続すると、「ETC 車載器」が表示されている位置に「ETC2.0 車載器」の接続情報が表示されます。

■ センサーの学習について

本機は、GPS の情報と内蔵センサーの情報を元に、自転車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。

一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしています。タイヤを交換した後、自転車位置のずれが大きいようであれば、センサー学習のリセットを行ってください。

センサー学習をリセットした場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。学習が完了すると、自転車マークの位置が正しく表示されます。

正しくセンサー学習するには

- GPS 情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。
- 障害物（建物、街路樹など）が少ない場所を走行してください。



- センサー学習中は、自転車位置がずれる場合があります。
- GPS アンテナの接続状態や、GPS 情報の受信状態、学習状況は、本機の画面で確認することができます。

AV 操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

- 1 【HOME】を押して【ソース切替】をタッチする



ソース切替画面が表示されます。

- 2 切り替えたいソースをタッチする



選択したソースのAV画面に切り替わります。

[iPod]

iPodの曲を再生します。(→ P.34)

[USB]

USB機器のオーディオ/ビデオファイルを再生します。(→ P.34)

[SD]

SDカードのオーディオ/ビデオファイルを再生します。(→ P.34)

[DISC]

CDやDVD、オーディオファイルを保存したCD-Rなどのディスクを再生します。(→ P.36)

[ワンセグ]

ワンセグを受信します。(→ P.38)

[FM]

FMラジオ放送を受信します。(→ P.37)

[AM]

AMラジオ放送を受信します。(→ P.37)

[SMART USEN]

カーナビ連携アプリケーション「SMART USEN」をインストールしたスマートフォンを接続すると本機でチャンネル選択などの操作をすることができます。(→ P.39)

[交通情報]

交通情報放送を受信します。(→ P.37)

[STANDBY]

ソースをすべてオフにします。

現在地図画面とAV画面を切り替える

- 1 【現在地/AV】を押す

MDV-L407W



MDV-L407



映像画面で操作ボタンを表示させる

- 1 画面をタッチする

操作ボタンが表示されます。



【非表示】をタッチするとボタンが消えます。

パッセンジャースリープ機能を使う

助手席や後部座席の搭乗者が眠っているときに使用します。運転席以外の席では搭乗者がうろさく感じない音質にし、運転席では音像バランスを維持できる音になります。

- ・パッセンジャースリープ機能を使用するには、運転席の位置を28ページの「ハンドル」で設定する必要があります。
- ・各ソースのAV画面に「Pスリープ」をオン/オフするボタンがあります。チェックを付けると、パッセンジャースリープ機能がオンになります。



- ・パッセンジャースリープ機能がオン中は、サウンド設定を変更できません。(→ P.28)

iPod

- iPod ソース中にコントロールできるのは音楽再生のみです。ビデオの再生コントロールはできません。
- iPod は別売の iPod 接続ケーブル KCA-iP103 で USB 接続します。



- iPod 接続ケーブルを接続する USB ケーブルは、本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。
- 本機対応の iPod は 57 ページをご覧ください。



ボタン	説明
	<p>タッチするたびにシャッフル再生モードが切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • OFF : シャッフル再生モードを解除します。 • 曲 : リスト内の曲をシャッフル再生します。
	<p>タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • OFF : リピート再生モードを解除します。 • ALL : リスト内のすべての曲をくり返し再生します。 • 1 : 再生中の曲をくり返し再生します。
	再生または一時停止（ポーズ）します。
	前または次の曲を再生します（スキップ）。タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[リスト]	再生リストを表示します。

USB/SD

<オーディオファイル>



<ビデオファイル>



ボタン	説明
[非表示]	ビデオファイル再生時の操作ボタンを消します。
[デバイス切替] (USBのみ)	複数の USB 機器を接続しているときに、再生する USB 機器を切り替えます。
[カテゴリーDB更新]	カテゴリーデータベースを作成、更新します。
	<p>タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • OFF : ランダム再生モードを解除します。 • フォルダ（パソコンで保存したファイル再生のみ） : 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。 • 曲（カテゴリーデータベース再生のみ） : 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
	<p>タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ALL : すべてのファイルをくり返し再生します。 • 1 : 再生中のファイルをくり返し再生します。 • フォルダ（パソコンで保存したファイル再生のみ） : 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。

ボタン	説明
[映像調整]	ビデオファイル再生時、映像の画質を調整します。(→ P.42)
▶	再生または一時停止(ポーズ)します。
◀◀ / ▶▶	前または次のファイルを再生します(スキップ)。タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
◀ / ▶	前または次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。(→ P.35)

■ カテゴリーデータベースを作成する

リストから曲またはビデオを再生するとき、アルバム、アーティストなどタグ情報をもとにカテゴリーから曲またはビデオを再生できます。



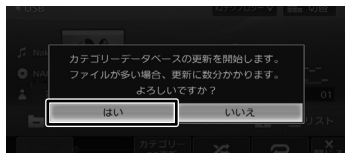
- カテゴリーデータベースの作成、更新は、USB 機器、SD カードに入っているファイルの数によっては時間がかかる場合があります。
- カテゴリーデータベース作成、更新中は他の操作はできません。
- カテゴリーデータベースを更新すると、USB 機器または SD カードに _ContentsDB フォルダが作成されます。_ContentsDB フォルダ内にあるデータをパソコンなどで変更または削除しないでください。正しくファイルが再生できなくなります。
- カテゴリーデータベースは最大 15000 曲登録することができます。

1 [カテゴリー DB 更新] をタッチする



メッセージが表示されます。

2 [はい] をタッチする



■ 再生リストと再生モードについて

USB ソースおよび SD ソースの再生には以下の再生モードがあります。[リスト] をタッチして再生リストを表示します。モードのリストを切り替えるボタンをタッチするたびにリストが切り替わります。ただし、該当するデータがない場合は切り替わりません。

1 [リスト] をタッチする



2 [カテゴリーリスト] をタッチする



● 再生モード

再生リスト	再生モード
フォルダリスト	パソコンで保存したファイルをそのままの状態です。[トップ]、[一つ上] をタッチするとフォルダが表示されます。
カテゴリーリスト	本機でカテゴリーデータベースを作成した USB 機器または SD カードをカテゴリーから選んで再生します。[トップ]、[一つ上] をタッチするとアーティスト、アルバムなどのカテゴリーが表示されます。
録音データ (SD のみ)	本機で SD カードに録音したデータを再生します。[トップ]、[一つ上] をタッチするとアーティスト、アルバムなどのカテゴリーが表示されます。



- カテゴリーデータベースモードは、データベースを作成する必要があります。(→ P.35)
- SD カードに録音された録音データの カテゴリーデータベースは自動で作成、更新されます。

DISC

<DVD-Video/DVD-VR>



ボタン	説明
[非表示]	操作ボタンを消します。
< >	カーソルを表示します。 (DVD-Video のみ)
[DVD 設定]	DVD の設定画面を表示します。 このボタンをタッチすると、再生中のビデオは停止します。
[音声切替]	音声を切り替えます。
[字幕切替]	字幕を切り替えます。
[アングル]	アングルを切り替えます。 (DVD-Video のみ)
↺	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ALL : すべてのチャプターをくり返し再生します。 チャプター : 再生中のチャプターをくり返し再生します。 タイトル : 再生中のタイトルをくり返し再生します。 プログラム (DVD-VR のみ) : 再生中のプログラムをくり返し再生します。 プレイリスト (DVD-VR のみ) : 再生中のプレイリストをくり返し再生します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。 (→ P.42)
▶/	再生または一時停止 (ポーズ) します。
■	再生を停止します。 再生中に ■ をタッチすると停止した場所を記憶して停止します。 停止中に ■ をタッチすると再生位置がディスク先頭に戻り、▶/ をタッチすると先頭から再生されます。

ボタン	説明
◀◀ / ▶▶	前または次のチャプターを再生します (スキップ)。 タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
[トップメニュー]	ディスクのトップメニューを表示します。(DVD-Video のみ)
[メニュー]	ディスクのメニューを表示します。(DVD-Video のみ)
[プログラムリスト]	プログラムリストを表示します。(DVD-VR のみ)
[プレイリスト]	プレイリストを表示します。(DVD-VR のみ)

<音楽 CD>



<オーディオファイルディスク>



ボタン	説明
[録音設定]	SD カードに録音するときの音質設定をします。(音楽 CD のみ)
✖	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> OFF : ランダム再生モードを解除します。 ALL (音楽 CD のみ) : アルバム内の曲をランダム再生します。 フォルダ (オーディオファイルディスクのみ) : 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をランダム再生します。

ボタン	説明
	<p>タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ALL : すべての曲をくり返し再生します。 1 : 再生中の曲をくり返し再生します。 フォルダ (オーディオファイルディスクのみ) : 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をくり返し再生します。
	再生または一時停止 (ポーズ) します。
	前または次の曲を再生します (スキップ)。
	タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
	前または次のフォルダの先頭ファイルから再生します。(オーディオファイルディスクのみ)
[録音]	現在の音楽 CD を SD カードに録音します。 [録音停止] をタッチすると、録音を停止します。(音楽 CD のみ)
[リスト]	<p>再生中の曲またはファイルの再生リストを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [トップ] (オーディオファイルディスクのみ) : 一番上の層のフォルダに移動します。 [一つ上] (オーディオファイルディスクのみ) : 一つ上の層のフォルダに移動します。

AM/FM



ボタン	説明
[クリアボイス]	チェックを付けると音声聞き取りやすくなります。
[1] ~ [8] (プリセットボタン)	プリセットされている放送局を受信します。
	放送局を選択します。 タッチするたびに、1 ステップずつ周波数を変えて選局します (マニュアル選局)。 タッチし続けると、タッチしている間、周波数が連続して変わります。
	プリセット局を番号順に受信します。「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します (オート選局)。
[プリセット切替]	プリセットモード (エリア / お気に入り 1 / お気に入り 2) を切り替えます。
[リスト]	プリセットモードが「エリア」のときに、登録データから取得した放送局をリストで表示します。

交通情報



ボタン	説明
[クリアボイス]	チェックを付けると音声聞き取りやすくなります。
[1620kHz] / [1629kHz]	受信周波数を 1620kHz または 1629kHz に手で切り替えます。



- 交通情報の音量は、他のソースから独立して調整できます。

ワンセグ



ボタン	説明
[クリアボイス]	チェックを付けると音声聞き取りやすくなります。
[非表示]	操作ボタンを消します。
[1] ~ [12] (プリセットチャンネルボタン)	プリセットされている放送局に切り替えます。 視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、 <input type="checkbox"/> が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびにサービスが切り替わります。
[ワンセグ設定]	受信レベルが低下して番組を視聴できなくなったとき、自動的に受信可能な中継局 / 系列局を探して切り替えることができます。(中継局 / 系列局サーチ) また、番組表の文字サイズを設定できます。
[音声切替]	視聴番組に複数の音声 / 二重音声があるときに、音声を切り替えます。なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
[字幕切替]	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。 なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.42)
	前または次のプリセット局を選局します。
[プリセット一覧]	プリセット一覧を表示します。タッチするとプリセットされている放送局に切り替えます。 視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、 <input type="checkbox"/> が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびにサービスが切り替わります。
[番組表]	番組表を表示します。
[プリセット切替]	プリセットモード(エリア / ホーム / お出かけ)が切り替わります。「エリア」は現在地周辺の地域のチャンネルが自動でプリセットされます。「ホーム」または「お出かけ」を初めてご使用になる場合は初期スキャンを行ってください。

■ ホームとお出かけに放送局をプリセットする

[プリセット切替] をタッチして「ホーム」または「お出かけ」に切り替えます。
[プリセット一覧] をタッチします。



[初期スキャン] をタッチします。



現在地の都道府県をタッチして [はい] をタッチします。受信できる放送局を検索し、プリセットに登録します。



- [再スキャン] は初期スキャンを行った後で、新たに受信できる放送局を空いているプリセットボタンに登録します。
- 再スキャンを行った後も、すでにプリセットされている内容はそのまま残ります。
- プリセットした後に初期スキャンをするとプリセットされていた内容はすべて消去され新たにプリセットします。

SMART USEN

「SMART USEN」は、株式会社 U-NEXT が提供するラジオ型の定額制音楽配信サービス（アプリケーション）です。

「SMART USEN」は iPhone で使用できます。「SMART USEN」についてはホームページをご覧ください。http://smart.usen.com/

■ 準備する

1 App Store から「SMART USEN」を iPhone インストールする

■ 本機と iPhone を接続する

本機に接続する iPhone がインターネットに接続されていることを確認してください。

1 本機に iPhone を接続する

本機の USB ケーブルに接続します。
接続ケーブルは別売の iPod 接続ケーブル KCA-iP103 を使用します。

2 「SMART USEN」を起動する



- 「SMART USEN」を起動して本機に接続しているときは、スマートフォンでの操作はできません。
- 「SMART USEN」のすべてのチャンネルを聴くには有料サービス契約が必要です。
- 「SMART USEN」ご利用時の通信料はお客様のご負担となります。
- 通信が不安定な場合は正常に動作しない場合があります。



ボタン	説明
	をタッチすると消音します。
	をタッチすると元の音量に戻ります。
[CHANNEL リスト]	聴きたいジャンルやカテゴリーからチャンネルを選択します。
[FAVORITE リスト]	お気に入り登録したチャンネルと今まで聴いたことのあるチャンネルをリスト（お気に入りリスト / 履歴リスト）で切り替えて表示します。チャンネルをタッチするとチャンネルが切り替わります。
[お気に入り登録]	再生中のチャンネルをお気に入り登録します。
[お気に入り一覧]	お気に入りリストに登録されたチャンネルから最大 99 チャンネルを表示します。タッチするとチャンネルが切り替わります。
[リスト]	再生中の曲、一つ前の曲、再生予定の 5 曲をリストで表示します。このリストからチャンネル選択はできません。

音楽CDをSDカードに録音する

再生中の音楽CDをSDカードに録音します。

- 録音中は、ワンセグとSDは選択することができません。
- 録音中に電源をオフにしないでください。ファイルが消えてしまったり、SDカードが破損するおそれがあります。電源をオフにしたい場合は、録音を中止してから行ってください。
- 録音中に録音を中断しても、それまでに録音を完了しているデータは保存されます。
- 録音ファイルは、次のように名前が付けられます。
 - タイトル名: _Track_ (トラック番号) _ (年) _ (月日) _ (時刻)
 - アルバム名: _Album_ (年) _ (月日) _ (時刻)
 - アーティスト名: _Artist_ (年) _ (月日) _ (時刻)なお、年 (西暦)、月日、時刻 (24 時制) は、その音楽CDが初めて録音されたときの開始時点のものです。

■ 録音可能曲数について

録音可能曲数は、録音品質によって異なります。

- SDカード (8GB の場合):
 - 標準音質 … 約 2000 曲
 - 高音質 … 約 1000 曲

■ 録音可能アルバム数について

最大 999 枚録音できます。

録音設定をする

- 1 音楽CDのAV画面を表示して、[録音設定]をタッチする



- 2 [録音音質]をタッチする



- 3 設定したい録音音質をタッチし、[閉じる]をタッチする



[標準 (128kbps)] :
標準の音質で録音します。

[高音質 (256kbps)] :
高音質で録音します。

録音する

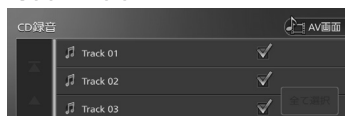
- 1 ソースを DISC に切り替えて、録音したい音楽 CD を再生する
CD の再生が始まり、DISC 画面が表示されます。

- 2 [録音] をタッチする



CD 録音画面が表示されます。

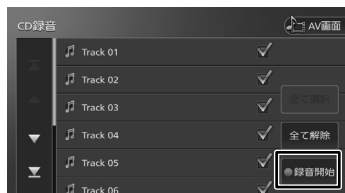
- 3 録音する曲をタッチする



[全て選択] / [全て解除] :

録音する曲の選択を、すべて選択・解除できます。

- 4 [録音開始] をタッチする



確認メッセージが表示されます。

- 5 [はい] をタッチする

録音が始まります。



[録音停止] :

録音を停止して、ディスクの1曲目から再生します。

すべての録音が終了すると、[録音モード終了] ボタンが表示されます。[録音モード終了] をタッチして [はい] をタッチすると、ディスクの1曲目から再生されます。

録音データを再生するには、ソースを SD にします。(→ P.33)

録音データのタイトルを編集する

SD カードに録音したデータのタイトル (曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル) を編集します。



- SD の録音データを編集する場合は、再生モードを「録音データ」にしてください。録音データについては、35 ページの「再生リストと再生モードについて」をご覧ください。

- 1 [HOME] を押して [ソース切替] をタッチする

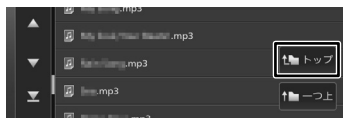
- 2 [SD] をタッチする



- 3 [リスト] をタッチする

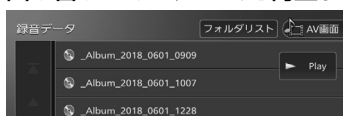


- 4 [トップ] をタッチする

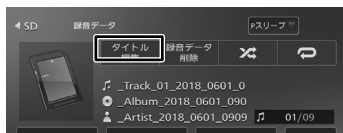


トップの階層にいる場合は手順5に進んでください。

- 5 アルバム名をタッチして編集したい曲が含まれるアルバムを再生する



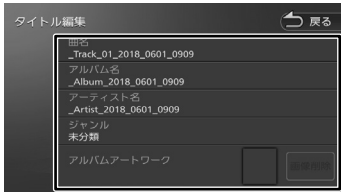
- 6 [タイトル編集] をタッチする



7 編集したい曲をタッチする



8 編集したい項目をタッチする



曲名：

文字入力画面が表示されます。

アルバム名：

文字入力画面が表示されます。
変更したアルバム名は同一アルバム内のすべての曲に反映されます。

アーティスト名：

文字入力画面が表示されます。
編集すると確認メッセージが表示されます。
[はい]：
編集したアーティスト名は同一アルバム内のすべての曲に反映されます。

[いいえ]：
編集している曲のみに反映されます。

ジャンル：

リストから選択します。
選択すると確認メッセージが表示されます。
[はい]：
選択したジャンルは同一アルバム内のすべての曲に反映されます。

[いいえ]：
編集している曲のみに反映されます。

アルバムアートワーク：

録音データにお好みの画像をアートワークとして表示させることができます。



- 入力可能最大文字数は、曲名 / アルバム名 / アーティスト名それぞれ 128 文字です。
- 文字の入力方法については 24 ページをご覧ください。

画質を調整する

1 調整する映像ソース画面を表示する

2 [映像調整] をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



3 [-] または [+] をタッチして各項目を調整する



コントラスト：コントラストを調整します。

- [+]：コントラストが強くなります。
- [-]：コントラストが弱くなります。

ブライツネス：明るさを調整します。

- [+]：明るくなります。
- [-]：暗くなります。

色の濃さ：色の濃淡を調整します。

- [+]：色が濃くなります。
- [-]：色が淡くなります。

色合い (カメラ / ドライブレコーダー映像のみ)：

色合いを [+] / [-] で調整します。

アスペクト

SD/USB：

レギュラー、フル、オリジナル

DVD：

レギュラー、フル、オート



- 地図画面の画質は調整できません。
- [非表示] をタッチすると、操作ボタンを消すことができます。

スマートフォン連携について

本機はスマートフォン (iPhone のみ) と連携することで、ドライブ、AV に役立つさまざまな機能を拡張することができます。

NaviCon

「NaviCon」と連携すると、「NaviCon」で登録した地点を本機に送信し、目的地に設定したり、本機に地点登録することができます。また、NaviCon の画面で表示している場所の地図を本機に表示することもできます。「NaviCon」の詳細は <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/> で型名を選んで「取扱説明書<詳細版>」をご覧ください。

SMART USEN

音楽放送のプロが選曲した 1,000 を超えるチャンネルが、いつでも手軽に楽しめる音楽聴き放題スマートフォンアプリケーションです。本機に接続すると本機からチャンネル選択などの操作をすることができます。「SMART USEN」の詳細は <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/> で型名を選んで「取扱説明書<詳細版>」をご覧ください。

別売品について

本機対応の別売品は以下になります。

- iPod 接続ケーブル
KCA-iP103 (→ P.34)
- ドライブレコーダー
 - ナビ連動型ドライブレコーダー(フロント用)
DRV-N530
 - ナビ連動型前後撮影対応 2 カメラドライブレコーダー
DRV-MN940B
- リアビューカメラ
 - ケンウッド専用マルチビューリアカメラ
CMOS-C320
 - ケンウッド専用スタンダードリアビューカメラ
CMOS-C230W/ CMOS-C230
 - マルチビューカメラ
CMOS-320*
 - スタンダードリアビューカメラ
CMOS-230W/ CMOS-230*

* 別売のケンウッド専用端子 / 汎用 RCA 変換リアカメラ接続ケーブル CA-C100 が必要です。
- ETC 車載器
 - 株式会社デンソー製 ETC 車載器
DIU-5310 (市販品)
 - 株式会社デンソー製 ETC 車載器
DIU-5412 (市販品)

ETC/ ステアリングリモコン接続ケーブル
KNA-300EX (別売品) が必要です。

 - 車両の対応や接続については、下記ホームページから「KNA-300EX」を選択してご覧ください。https://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option/etccable/
 - ドライブレコーダー DRV-N530 または DRV-MN940B を接続する場合は、ドライブレコーダーに付属のケーブルを使用します。
- ETC2.0 車載器
 - ケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応 ETC2.0 車載器 ETC-N7000
 - ケンウッド製カーナビ連動型 ETC2.0 車載器 ETC-N3000
 - パナソニック株式会社製 ETC2.0 車載器 CY-ET2000D (市販品)
接続ケーブル：KNA-P12DSRC (別売品)
 - パナソニック株式会社製 ETC2.0 車載器 CY-DSR140D (市販品)
接続ケーブル：KNA-P15DSRC (別売品)
 - 株式会社デンソー製 ETC2.0 車載器 DIU-B040 (市販品)
接続ケーブル：KNA-D15DSRC (別売品)
- ステアリングリモコン
 - ETC/ ステアリングリモコン接続ケーブル
KNA-300EX
 - ドライブレコーダー DRV-N530 または DRV-MN940B を接続する場合は、ドライブレコーダーに付属のケーブルを使用します。車両の対応や接続については、下記ホームページから「KNA-300EX」を選択してご覧ください。https://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option/etccable/
- トヨタ車用 / ダイハツ車用ワイヤリングキット
KNA-200WT (MDV-L407W のみ)
- 日産車用ワイヤリングキット
KNA-200WN (MDV-L407W のみ)

ドライブレコーダー DRV-N530 (別売 品) を使う

本機対応のナビ連動型ドライブレコーダー DRV-N530 (別売品) を接続すると、手動録画や静止画記録のほか、録画したファイルの再生、設定などを本機から操作することができます。

録画の画質の種類や録画時間 / 録画ファイル数など詳細は接続しているドライブレコーダー (別売品) の取扱説明書をご覧ください。

本機の操作については

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/> で型名を選んで取扱説明書<詳細版>をご覧ください。

ドライブレコーダーの接続設定はありません。



- ドライブレコーダー (別売品) を接続したときは、ETC 車載器 (市販品) を接続することはできません。(ETC2.0 車載器は除く)
- ドライブレコーダーを接続して初めて電源をオンにしたときは、本機が認識して使用できるまでに数分かかる場合があります。

ドライブレコーダーの映像を表示する

本機に接続したドライブレコーダーの映像を表示します。

- 1 【HOME】 を押して [ドライブレコーダー] をタッチする



ドライブレコーダーの映像が表示されます。

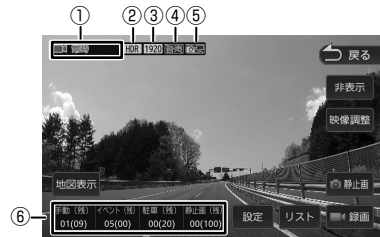
ドライブレコーダーの操作ボタンを使う

- 1 画面をタッチする



操作ボタンが表示されます。

画面の見かたと操作



- ① 録画モードと録画残時間
(イベント記録 / 手動録画のみ表示)
- ② HDR が「ON」のときに表示
- ③ 録画画質
- ④ 音声録音あり **音声** / なし **音無**
- ⑤ 自動静止画撮影 ON **ON** / OFF **OFF**
- ⑥ 保存ファイル数 (撮影可能ファイル数)

- 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	本機に表示される画像を調整します。ドライブレコーダーに録画される映像には影響しません。
[地図表示]	地図表示モードに切り替えます。
[静止画]	静止画を撮影します。タッチし続けると自動静止画連続撮影機能がオンになります。もう一度タッチし続けるとオフになります。
[設定]	ドライブレコーダー設定を表示します。
[リスト]	録画ファイルリストを表示します。
[録画]	手動録画を開始します。手動録画中にタッチすると、手動録画時間を延長します。

録画ファイルを再生する

本機でドライブレコーダーの録画ファイルを再生します。



- フォルダやファイルの選択、または再生中は、録画が停止します。また、ドライブレコーダーでの手動録画、静止画記録もできません。
- 操作ボタンは一定時間が過ぎると消えます。画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。
- 駐車録画のファイル再生は、地図画面は表示されません。
- 地図は北側が画面の上方向になるように固定されます。
- 本機の【HOME】または【現在地 / AV】を押すと、常時録画に戻ります。
- 走行中は、録画ファイルの再生映像が表示されません。
- 走行中は、地図表示、音量調整以外の操作はできません。

1 【HOME】を押して【ドライブレコーダー】をタッチする



ドライブレコーダーの映像が表示されます。

2 画面をタッチする

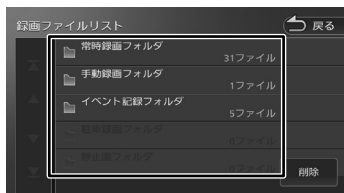


操作ボタンが表示されます。

3 【リスト】をタッチする



4 再生したい録画フォルダを選択する



5 再生したいファイルを選択する



フロントカメラの録画ファイルの再生が始まります。

ドライブレコーダー DRV-MN940B (別売品) を使う

本機対応のナビ連動型前後撮影対応 2 カメラドライブレコーダー DRV-MN940B を接続すると手動録画や静止画記録のほか、録画したファイルの再生、設定などを本機から操作することができ

ます。録画の画質の種類や録画時間 / 録画ファイル数など詳細は接続しているドライブレコーダー (別売品) の取扱説明書をご覧ください。

本機の操作については

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/> で型名を選んで取扱説明書<詳細版>をご覧ください。



- ドライブレコーダー (別売品) を接続したときは、ETC 車載器 (市販品) を接続することはできません。(ETC2.0 車載器を除く)
- ドライブレコーダーを接続して初めて電源をオンにしたときは、本機が認識して使用できるまでに数分かかる場合があります。

ドライブレコーダーの映像を表示する

本機に接続したドライブレコーダーの映像を表示します。

1 【HOME】を押して【ドライブレコーダー】をタッチする



ドライブレコーダーの映像が表示されます。

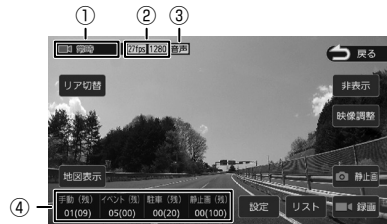
ドライブレコーダーの操作ボタンを使う

1 画面をタッチする



操作ボタンが表示されます。

画面の見かたと操作



- ① 録画モードと録画残時間 (イベント記録 / 手動録画のみ表示)
- ② フレームレート / 録画画質
- ③ 音声録音あり [音声] / なし [音消]
- ④ 保存ファイル数 (撮影可能ファイル数)

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[リア切替] / [フロント切替]	ドライブレコーダー DRV-MN940B のリアカメラの映像とフロントカメラ映像を切り替えます。
[地図表示]	地図表示モード (現在地図画面) に切り替えます。
[設定]	ドライブレコーダー設定を表示します。
[リスト]	録画ファイルリストを表示します。
[録画]	手動録画を開始します。手動録画中にタッチすると、手動録画時間を延長します。
[静止画]	静止画を撮影します。
[映像調整]	本機に表示される画質を調整します。ドライブレコーダーに録画される映像には影響しません。
[非表示]	操作ボタンを消します。
[戻る]	1 つ前の画面に戻ります。

録画ファイルを再生する

本機でドライブレコーダーの録画ファイルを再生します。



- フォルダやファイルの選択、または再生中は、録画が停止します。また、ドライブレコーダーでの手動録画、静止画記録もできません。
- 操作ボタンは一定時間が過ぎると消えます。画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。
- 駐車録画のファイル再生は、地図画面は表示されません。
- 地図は北側が画面の上方向になるように固定されます。
- 本機の【HOME】または【現在地 / AV】を押すと、常時録画に戻ります。
- 走行中は、録画ファイルの再生映像が表示されません。
- 走行中は、地図表示、リア / フロント切替、音量調整以外の操作はできません。

1 【HOME】を押して【ドライブレコーダー】をタッチする



ドライブレコーダーの映像が表示されます。

2 画面をタッチする

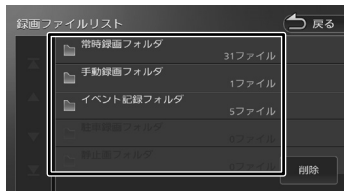


操作ボタンが表示されます。

3 【リスト】をタッチする



4 再生したい録画フォルダを選択する



5 再生したいファイルを選択する



フロントカメラの録画ファイルの再生が始まります。

リアカメラの録画ファイルを再生したいときは手順 6 を操作してください。

6 【リア切替】をタッチする



リアカメラの録画ファイル再生に切り替わります。

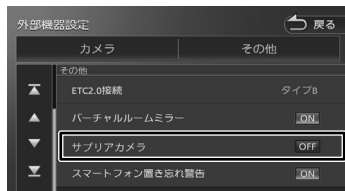
【フロント切替】をタッチするとフロントカメラの録画ファイルの再生に戻ります。

サブリアカメラ機能を使う

リアビューカメラの補助としてドライブレコーダーのリア映像を表示する（サブリアカメラ）ことができます。表示するには、事前に設定が必要です。

サブリアカメラの設定をする

- 1 【HOME】を押して【情報・設定】をタッチして【外部機器】をタッチする
- 2 「その他」の【サブリアカメラ】をタッチして【ON】にする



サブリアカメラの映像を表示する

- 1 シフトレバーを「R」（リバース）にする
別売のリアビューカメラを接続しているときはリアビューカメラの映像を表示します。リアビューカメラを接続していないときは、ドライブレコーダーのリア映像を表示します。手順2と3の操作は不要です。
- 2 画面をタッチして操作ボタンを表示する
- 3 【リアレコ】をタッチする



サブリアカメラの映像に切り替わります。



- 本機の電源を入れた直後など、サブリアカメラの映像を表示するのに時間がかかります。

画面の見かたと操作



【上位置】 / 【下位置】：

警告文の表示位置を変更します。

【非表示】：

操作ボタンを消します。画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

【映像調整】：

サブリアカメラの画質を調整します。録画される映像には影響しません。

【リアカメラ】：

リアビューカメラの映像を表示します。

【ズーム】：

映像中央が1.6倍に拡大した映像が表示されます。



- サブリアカメラの映像にガイド線機能はありません。
- 録画ファイルの再生中にサブリアカメラ映像を表示させた場合は、再生を停止します。

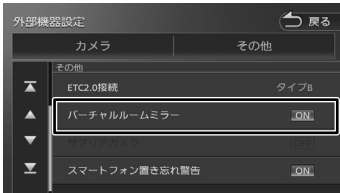
バーチャルルームミラー機能を使う

リアウィンドウが小さい車や、後部座席に荷物を積んでいるなど、ルームミラーでの後方確認ができない場合などに、HOME 画面と現在地図画面から後方の映像を表示することができます。表示するには、事前に設定が必要です。

バーチャルルームミラーの設定をする

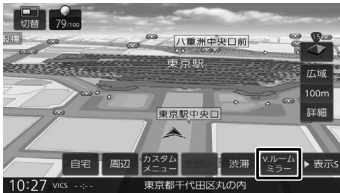
お買い上げ時は [ON] に設定されています。

- 1 【HOME】を押して【情報・設定】をタッチして【外部機器】をタッチする
- 2 「その他」の【バーチャルルームミラー】をタッチして【ON】にする



現在地図画面から表示する

- 1 【現在地 / AV】を押す
- 2 【V. ルームミラー】をタッチする



バーチャルルームミラーの映像が表示されます。

- 3 画面をタッチして操作ボタンを表示する



映像を表示している機器
ドライブレコーダー / リアカメラ

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の【非表示】でも消すことができます。

- 【戻る】：
現在地図画面に戻ります。
- 【非表示】：
操作ボタンを消します。画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。
- 【映像調整】：
バーチャルルームミラー映像の画質を調整します。録画される映像には影響しません。

- 【拡大】 / 【縮小】：
表示する映像を等倍 (x1)、拡大 (x1.2/x1.4/x1.6) することができます。拡大した後に縮小をタッチすると等倍 (x1) までタッチするたびに切り替わります。

- 【切替】：
別売のリアビューカメラと別売のドライブレコーダーを両方接続していて、リアカメラの接続設定が【なし】以外に設定されていると表示されます。タッチすると映像を表示する機器(リアカメラまたはドライブレコーダー)を切り替えることができます。



- バーチャルルームミラーに必要な別売のドライブレコーダーは DRV-MN940B です。別売のリアビューカメラは、CMOS-C320、CMOS-C230W、CMOS-C230、CMOS-320、CMOS-230W、CMOS-230 です。

リアビューカメラを使う

リアビューカメラ設定

リアビューカメラを接続したときは、設定を行う必要があります。



- 本機に接続できるリアビューカメラは別売の CMOS-C320、CMOS-C230W、CMOS-C230、CMOS-320*、CMOS-230W*、CMOS-230* です。
* ケンウッド専用端子 / 汎用 RCA 変換リアカメラ接続ケーブル CA-C100 (別売品) が必要です。

1 [HOME] を押して [情報・設定] をタッチして [外部機器] をタッチする

2 「カメラ」の [リアカメラ接続] をタッチする



3 [汎用カメラ] または [専用カメラ (コントロール機能付)] をタッチする



[なし]: カメラを接続しません。

[汎用カメラ]:

CMOS-C230/CMOS-C230W/CMOS-320/CMOS-230W/CMOS-230 (別売品) または市販のカメラを接続しているときに選択します。

[専用カメラ (コントロール機能付)]:

CMOS-C320 (別売品) を接続しているときに選択します。



- [専用カメラ (コントロール機能付)] に設定した場合は、手順 3 の画面で [リアカメラ調整] をタッチしてカメラの設定を行ってください。
- [汎用カメラ] に設定した場合は、手順 3 で [リアカメラ調整] をタッチするとガイド線の調整ができるようになります。

リアビューカメラを表示する

- モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度 (徐行) でご使用ください。
- リアビューカメラシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。

1 シフトレバーを “R” (リバース) にする

リアビューカメラの映像が表示されます。



画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。



[ビュー]:

リアビューカメラの視点を切り替えます。
(CMOS-C320 接続時のみ)

[ガイド線]:

リアビューカメラ映像にガイド線を表示します。
もう一度タッチすると、ガイド線が消えます。

[上位置] / [下位置]:

警告文の位置表示を変更します。

[非表示]:

リアビューカメラ操作ボタンを消します。

[映像調整]:

リアビューカメラ映像の画質を調整します。



- 警告文を下に表示すると、車両の後端が映らなくなり、危険な場合があります。そのような場合は、表示位置を上に変更してください。

ETC車載器/ETC2.0車載器を使う

本機はETC車載器（別売品）またはETC2.0車載器（別売品）を接続することができます。本機に対応しているETC車載器およびETC2.0車載器は44ページをご覧ください。

- ETC車載器の接続設定はありません。
- ETC2.0車載器は、接続した機器の設定を行ってください。



- ETC車載器とETC2.0車載器は本機に同時に接続しないでください。
- 本機はサービスエリアや道の駅でのITSスポットによるインターネットサービス（情報配信サービス）には対応していません。
- 本機は決済サービスには対応していません。
- ドライブレコーダーとETC車載器は同時に接続できません。（ETC2.0車載器は除く）
- ETC車載器を接続して初めて電源をオンにしたときは、本機が認識して使用できるまでに数分かかる場合があります。ETC車載器が正しく接続されているかは、「接続情報」画面（→ P.32）で確認してください。

ETC2.0車載器の接続設定をする

お買い上げ時は [タイプB] に設定されています。

1 **【HOME】を押して【情報・設定】をタッチする**

2 **【外部機器】をタッチする**



3 **「その他」の【ETC2.0接続】をタッチする**



4 **接続するETC2.0車載器をタッチする**



【なし】：

ETC2.0車載器を接続しません。

【タイプA】：

- パナソニック株式会社製 ETC2.0車載器：CY-ET2000D（市販品）
接続ケーブル：KNA-P12DSRC（別売品）
- パナソニック株式会社製 ETC2.0車載器：CY-DSR140D（市販品）
接続ケーブル：KNA-P15DSRC（別売品）

【タイプB】：

- ケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応 ETC2.0車載器 ETC-N7000（別売品）
- ケンウッド製カーナビ連動型 ETC2.0車載器 ETC-N3000（別売品）
- 株式会社デンソー製 ETC2.0車載器 DIU-BO40（市販品）
接続ケーブル：KNA-D15DSRC（別売品）

5 **本機の電源をオフにしてオンにする**

ETC 車載器または ETC2.0 車載器の表示設定について

ETC 車載器は、ナビ設定で「ETC 音声の出力」と「ETC の料金表示」を設定することができます。ETC2.0 車載器はナビ設定の「交通情報」で割り込み表示や時間の設定ができます。設定については <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/> で型名を選んで取扱説明書<詳細版>をご覧ください。

信号情報活用運転支援システム (TSPS) による信号情報案内

本機に別売のケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応 ETC2.0 車載器 ETC-N7000 を接続すると、高度化光ビーコン（以降、光ビーコン）から送信される信号情報活用運転支援システム (TSPS) の情報を受信することができます。本機は、受信した情報によって、以下の 3 つの信号情報案内に対応しています。

- 信号通過支援案内
- 赤信号減速支援案内
- 発進遅れ防止支援案内

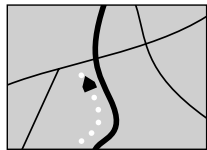
詳細は <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/> で型名を選んで取扱説明書<詳細版>をご覧ください。

自車位置の測位精度について

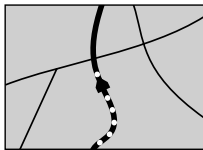
マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。

GPS や自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。



マップマッチングしていない場合



マップマッチングしている場合

本機は、GPS と自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

内蔵センサーによる測位とは

内蔵の車速パルスとジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

誤差について

本機は、GPS と自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしています。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

■ GPS 測位不能によって生じる誤差について

- 1) 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。
 - トンネルの中やビル内の駐車場
 - 2層構造の高速道路の下
 - 高層ビルなどの間
 - 密集した樹木の間
- 2) GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的にGPS 衛星からの電波を受信できなくなるため、GPS による測位ができないことがあります。
- 3) 3基以下のGPS 衛星の電波しか受信できない場合は、GPS による測位はできません。

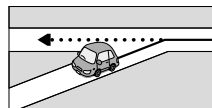
GPS 衛星自体の原因により生じる誤差について

- 1) 電波を受信しているGPS 衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 2) GPS 衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

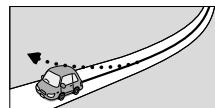
その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

角度の小さいY字路を走行した場合



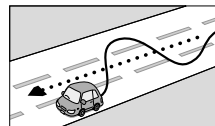
直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後



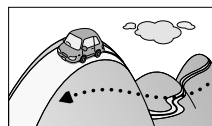
砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合



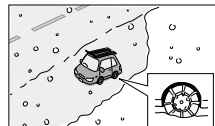
蛇行運転をした場合



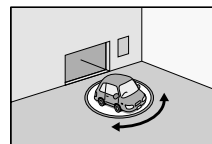
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合



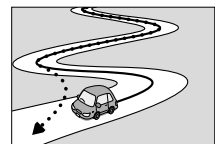
チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合



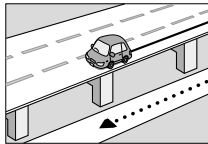
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



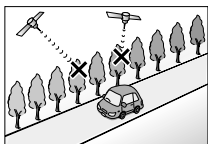
ヘアピンカーブが続いた場合



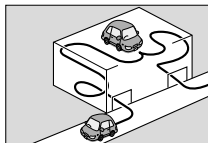
高速道路と側道などが隣接している場合



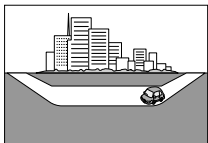
GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合



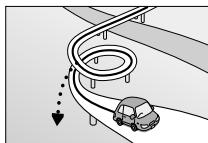
立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



地下駐車場やトンネルなど、GPS衛星による測位が長時間できない場合



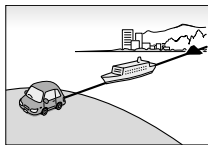
ループ橋などを走行した場合



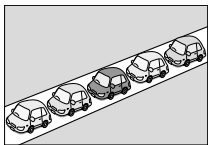
地図データにはない、新設道路を走行した場合



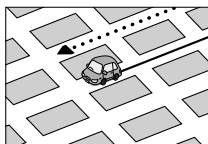
フェリーや車両運搬車などで移動した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



碁盤の目状の道路を走行した場合



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

低速時の測位精度について

車種によっては、時速数 km 程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数 km 程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

準天頂衛星について

従来の GPS 衛星からの信号に加え、準天頂衛星からの信号を受信することで、山間部やビル街でも測位精度を向上することができます。
(準天頂衛星初号機「みちびき」が稼働中です。現時点では、受信できる時間帯に制限があります。また、季節によって時間帯は異なります。)

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
	信号機		スキー	文	その他学校		SA
	都道府県庁舎		キャンプ		保健所		PA
	市特別区庁舎		遊園地	■	税務署		JCT
	町村指定都市区庁舎		動物園		発電所		IC/JCT (併設)
	官庁公共施設		公園	■	裁判所		IC/SA (併設)
	警察		ホテル		灯台		IC/PA (併設)
	消防		スタジアム		ホール		SA/JCT (併設)
文	学校		スポーツ施設		スマートIC		PA/JCT (併設)
〒	郵便局		植物園	■	その他の目的物		料金所
	病院		美術館		NTT		スマートIC
	デパート/スーパー		博物館		サッカー		ガソリンスタンド
	カー用品店		水族館		テニスコート		レストラン
	IC		図書館		ディスカウントストア		スナック
	SA		寺		ビルボード名称		ショッピング
	PA		城・天守閣		道の駅		ハイウェイオアシス
P	パーキング		展望タワー		ヘリポート		インフォメーション
	工場		温泉		乗馬		休憩所
	飛行場		山頂		体育館		ハイウェイ情報ターミナル
	フェリー		自衛隊		牧場		ベビーコーナー
	港		墓地		自転車学校		ドッグラン
	料金所		ボウリング場		トンネル		障害者用トイレ
	マリーナ		サッカー		船着場(観光船等)		ATM
	史跡名勝		競馬場ウィンズ		野球場		トイレ
	城跡	大	大学		展望台		
〒	神社	短大	短大	サービスエリア (SA) パーキングエリア (PA)			
	寺院		高専		IC		
	教会		高校		スマートIC		
	海水浴場	中	中学校				
	ゴルフ場	小	小学校				



- 表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。

地図のデータベース について

本製品の地図の作成にあたって使用しているデータベースの詳細については、<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/> で型名を選んで「取扱説明書<詳細版>」をご覧ください。

■注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
- 収録するデータは、その正確性を保証するものではありません。データ内容の誤りに対して、取り替え、代金の返却はいたしかねます。
- 本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、当社は一切その責任を負いかねます。

iPod について

本機でコントロールできる iPod について

Made for

- iPod touch (6th generation)
 - iPhone XS
 - iPhone XS Max
 - iPhone XR
 - iPhone X
 - iPhone 8
 - iPhone 8 Plus
 - iPhone SE
 - iPhone 7 (6th generation)
 - iPhone 7 Plus
 - iPhone 6s
 - iPhone 6s Plus
 - iPhone 6
 - iPhone 6 Plus
 - iPhone 5s
- 音楽再生のみに対応します。
 - 本書では上記 iPod および iPhone をまとめて「iPod」と呼びます。
 - 本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。

メディアおよびファイルについて

再生できるディスクフォーマット

ISO 9660/Joliet/UDF

使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。



ご使用上の注意事項

- USB 機器や SD カードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- 本機で再生するオーディオ / ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。
- 本機で再生できるオーディオ / ビデオファイルの詳細は <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/> で型名を選んで「取扱説明書<詳細版>」をご覧ください。

本機で再生できるディスクメディア

● ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明
DVD	DVD ビデオ	○	—
	DVD オーディオ	×	—
	DVD-R	○	VR モード対応 (DVD-R/RW のみ) CPRM 対応
	DVD-RW	○	
	DVD+R	○	
	DVD+RW	○	
	DVD+R DL (2 層)	○	
	DVD-R DL (2 層)	○	
DVD-RAM	×	—	
CD	音楽 CD	○	8cm ディスク非対応
	CD-ROM	○	—
	CD-R	○	パケットライト非対応
	CD-RW	○	
	DTS-CD	×	—
	ビデオ CD、スーパービデオ CD	×	—
	フォト CD	×	—
	HDCD	△	通常の音楽 CD の音質
CCCD	×	—	
その他	デュアルディスク	×	—
	スーパーオーディオ CD	△	CD 層のみ再生可能

○：再生できます △：一部のみ再生できます

×：再生できません

- 記録面（レーベル面の反対側）が着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。
- ファイナライズ処理を行っていない CD-R/RW および DVD-R/RW は再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。

そのほかにも、記録状態によっては再生できない場合があります。

- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

ディスク使用上のご注意

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽く拭き取ってください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、8cmCD アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

DVD のリージョン番号

本機で再生できる DVD リージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または 2 を含むもの）と「ALL」です。

DVD ディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

本機で再生できる SD カード

規格	SD/SDHC/SDXC*1
最大容量	2GB(SD)/32GB(SDHC)/2TB(SDXC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT*2

*1：MMC(MultimediaCard)には対応していません。

*2：この他のファイルシステム (NTFS 等) には対応していません。

● SD スピードクラスは Class10 まで対応しています。

SD カード使用上のご注意

- miniSD カード、microSD カードは SD カードアダプターを使用することで使用可能ですがすべてのカードの動作保証はしていません。
- ご使用の際には、必ず SD カードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
- 本機で使用できない場合は、ファイルシステムが FAT16、FAT32 または exFAT であることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
- 本機は SD-Audio には対応していません。
- すべての SD カードに対して、動作を保証するものではありません。
- SD カードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- SD カード内のデータは必ずバックアップをしてください。SD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できる USB 機器

規格	USB1.1/2.0*1
デバイスクラス	マストレージクラス (MSC device) *2
最大消費電流	1A 以下 (USB 接続時)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT*3

*1：USB3.0 には対応していません。

*2：使用する USB デバイスが USB マストレージクラスに対応しているかは、USB デバイスの販売メーカーにお問い合わせください。

*3：この他のファイルシステムには対応していません。

USB 機器使用上のご注意

- 接続した USB デバイスは運転の支障とならないように設置してください。
- セキュリティ機能付きの USB デバイスは使用できません。
- USB 規格外のケーブルは動作保証できません。また、延長ケーブルの使用により正常に再生できない場合があります。
- USB デバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- すべての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USB デバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USB デバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット

コーデック	メディア				
	CD	DVD	USB	SD	
オーディオ ファイル	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○
	WAV	○	○	○	○
	FLAC	○	○	○	○
ビデオ ファイル	Vorbis	○	○	○	○
	MPEG-4 Video	×	×	○	○
	H.264/ MPEG-4 AVC	×	×	○	○
	WMV	×	×	○	○

○：再生できます ×：再生できません。

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社JVCケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および/または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。

使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

【使用許諾契約書】

第1条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第3条第1項に定める例外を除き譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

第2条（使用権）

1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアの本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を含めたとに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定PCへのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第3条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第6条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第8条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第10条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第11条（輸出規制）

1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第12条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりに契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社 JVC ケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社 JVC ケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。

当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス

<https://www.kenwood.com/gpl/j.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社 JVC ケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。

適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただくかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社 JVC ケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。

掲載場所は [情報・設定] - [システム] - [特別] の [オープンソースライセンス] です。

VICS について

VICS サービスの問い合わせ

VICS サービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICS 関連商品、VICS 情報の受信エリアや内容の概略、地図表示の内容に関する場合は JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- VICS の概念、計画、または表示された情報内容に関する場合は VICS センターへお問い合わせください。(ただし、地図表示の表示内容は除く)
<問い合わせ先>

VICS センター

電話番号

0570-00-8831

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。

電話受付時間

9:30 ~ 17:45

(但し土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く)

FAX 受付時間 24 時間

FAX 番号 (全国) 03-3562-1719

- VICS の最新情報について

VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。

インターネット URL <http://www.vics.or.jp/>

VICS リンクの更新について

VICS センターでは、レベル 3 の情報の収集と提供に、VICS リンク (主要交差点毎に道路を区切った単位) というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICS リンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。

この結果、新しい VICS リンクによる情報の提供が行われると、変更前の VICS リンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前の VICS リンクに対しても変更後 3 年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。



- VICS リンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新については JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章 総則

(約款の適用)

第 1 条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター (以下「当センター」といいます。) は、放送法 (昭和 25 年法律第 132 号) 第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款 (以下「この約款」といいます。) を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第 2 条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第 3 条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約

当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターと VICS サービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランプラー

FM 多重放送局からのスクランブル化 (攪乱) された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第 4 条 VICS サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第 5 条 当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章 契約

(契約の単位)

第 6 条 当センターは、VICS デスクランプラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第 7 条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域 (全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内) とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

第6章 雑則

(契約の成立等)

第8条 VICS サービスは、VICS 対応FM受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICS サービスの種類に対応したVICS 対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 1. 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することができます。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2. 第11条又は第12条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2. 当センターは、前項の規定によりVICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2. VICS サービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 300円 (税抜き)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

- 本機器で提供している道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● 共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	車両のヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	電源コードなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください。
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト、明るさ、視野角を調整してください。
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。
リアビューカメラに切り替わらない。	リアビューカメラが正しく接続されていない。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
	リアカメラ接続設定が“なし”になっている。	接続しているカメラを確認してリアカメラ接続設定を行ってください。(→ P.51)
音が出ない / 音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。(→ P.28)
音質が悪い (音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいます。	スピーカーの配線を確認してください。
	スピーカーの配線が間違っている。	スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。
案内音声が出力されない。	フロントスピーカーに接続していない。	案内音声の音声出力はフロントスピーカーのみです。スピーカーの接続を確認してください。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

● 共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。 カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
暗証番号が違います。 もう一度入力してください。	正しい暗証番号を入力してください。暗証番号を思い出せない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。問題が解消されない場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシに接触したため保護回路が働いた可能性があります。取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
ワンセグアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	アンテナケーブルの配線がショートしています。配線を確認してください。
GPS アンテナに異常があります。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
車速パルスが検出できません。 車速検出コード（桃）の接続先及び接続状態を確認してください。	取付説明書を参照して、車速検出コードの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
ステアリングリモコンキーの学習ができませんでした。	取付説明書を参照して、ステアリングリモコンの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
SD カードのフォーマットができませんでした。	SD カードが正しく入っているかを確認してください。他の SD カードを使用しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
DISC メカ通信エラー	JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	<ul style="list-style-type: none">● ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。● 探索条件を「一般」以外にしてください。

● VICS

メッセージ	対処
電波が弱いか周波数が違うため、VICS 情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。または VICS 放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

● ETC

メッセージ	対処
ETCに異常が発生しました。 販売店にお問い合わせください。(04)	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC 車載器との接続を確認してください。	接続が正しいことを確認しても、問題が解決されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCカードが挿入されていません。 ETCカードが挿入されていません。(01)	ETCカードを差し込みなおしてください。
ETCカードが読みません。 ETCカードが読みません。(02)、(03)、(05)	<ul style="list-style-type: none"> ● 差し込まれたカードがETCカードかどうか確認してください。 ● カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。 ● カードの金属端子面をきれいに拭いてから差し込んでください。問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCがセットアップされていません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCをご利用できません。 ETCをご利用できません。(06)、(07)	ETCカードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
中断しました。	故障ではありませんのでもう一度操作してください。

● ETC2.0

メッセージ	対処
ETC2.0 接続エラー	取付説明書を参照して、ETC2.0車載器の接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● カメラ

メッセージ	対処
専用カメラと通信できません。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、専用カメラとの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
走行中は調整できません。	リアビューカメラのガイド線調整、および専用カメラのカメラ設定は、安全なところに停車した状態で行ってください。

● ドライブレコーダー

メッセージ	対処
ドライブレコーダーが接続されていません。	取付説明書を参照して、ドライブレコーダーの接続を確認してください。
ドライブレコーダーに異常があります。接続を確認してください。	接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● AV (共通)

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオ / ビデオファイルかどうかを確認してください。
走行中は音声のみお楽しみください。	走行中は映像を見ることができません。
音声は再生できません。	音声は再生できないビデオファイルです。
ファイルが再生できません。	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。

● AV(DISC)

メッセージ	対処
ディスクが読めません。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。再生可能なディスクを挿入してください。
再生できないリージョンコードのディスクです。	ディスクのリージョンコードを確認してください。リージョンコード「2」(または2を含むもの)と「ALL」のディスクが再生できます。
ディスクがローディングできません。 / ディスクがイジェクトできません。	強制イジェクト(フロントパネルの【▲】(オープンキー)をメッセージが表示するまで押して【はい】をタッチする。)を実行してください。または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
録音可能なアルバム数の上限を超えています。	録音できるアルバムは最大 999 枚までです。不要なアルバムを削除してから録音してください。
録音を続行できないため、録音を中断しました。	再度録音しなおしてください。
空き容量不足のため、これ以上録音できません。	不要なファイルを削除するか、空き容量の大きい SD カードを使用してください。

● SMART USEN

メッセージ	対処
スマートフォンアプリケーションからエラーが通知されました。 スマートフォンを確認してください。	本機との接続を解除し、スマートフォン単体で「SMART USEN」アプリケーションがご利用できることを確認してください。
スマートフォンアプリケーションと通信できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「SMART USEN」アプリケーションの起動を確認してください。 ● スマートフォンとの接続が正常かを確認してください。
連続再生が 3 時間を超えたため停止しました。	過度のバッテリー消耗、通信容量増加を防止するため、3 時間以上の連続再生を制限しています。(アプリケーションの仕様) 再生ボタンをタッチするか、チャンネル選択をすることで引き続き再生できます。


特許権 / 著作権 / 商標 など

「タウンページ」は、NTT 東日本およびNTT 西日本の登録商標です。

Windows Media is a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

 is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.


Apple, iPhone, iPod, iPod touch, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from iPhone K.K.

IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group. 本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

SDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。

 はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

VICS、VICS WIDE は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

QR コードは (株) デンソーウェブの登録商標です。

「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

「マップクリップ」はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

本製品には、株式会社コビキタスが開発した高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社コビキタスの商標です。 Copyright© 2018 Ubiquitous Corp. All rights reserved.



本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。



本ソフトウェアは、株式会社日立製作所の音声生成技術を使用しています。「Ruby Talk」は株式会社日立超 LSI システムズの登録商標です。

Ruby Talk®



「ETC」、「ETC2.0」は一般社団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。

ITS スポットは国土交通省の登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア (株) の compact Wnn を使用しています。 compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2017 All Rights Reserved.

libFLAC
Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson
Copyright (C) 2011-2013 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL

INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis

Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

主な仕様

● ナビゲーション部

測位衛星システム 受信衛星	GPS、QZSS(準天頂衛星)、 SBAS
測位衛星システム 受信周波数帯	L1
内蔵センサー	2D センサー(ジャイロ1軸)
VICS	FM多重(内蔵)、VICS-WIDE 対応/ ITS スポット対応(別売)、高度化 光/光ビーコン対応(別売)

● モニター部

画面サイズ	7V型ワイドVGA
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	1,152,000個800H×RGB×480V
画素配列	RGBストライプ配列
タッチパネル	抵抗膜式タッチパネル
使用光源(照明方式)	LED/バックライト方式

● オーディオ部

最大出力	50W×4
スピーカー インピーダンス	4～8Ω

● 入出力部

リアビューカメラ 専用映像入力	端子:専用8Pinコネクタ×1 映像入力レベル:1Vp-p/75Ω
ドライブレコー ダー映像入力	端子:RCA×1 映像入力レベル:1Vp-p/75Ω

● ワンセグ部

受信方式	地上デジタルテレビ放送1セグメン ト部分受信サービス(ワンセグ)
受信チャンネル	UHF13～52ch

● チューナー部

FM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0MHz～99.0MHz (0.1MHz)
AM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522kHz～1629kHz (9kHz)

● USB I/F 部

対応USB	USB1.1/2.0(High Speed)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT
最大供給電流	DC5V ≒ 1A

● SDカード部

対応SD	SD/SDHC/SDXC
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT

● DVD/CD部

信号方式	NTSC
対応ディスク	DVD-Video, DVD±R/±RW/ ±R DL, CD-DA, CD-R/-RW, SACD(CD LAYER ONLY)
リージョン番号	2
サンプリング 周波数	44.1kHz/ 48kHz/96kHz
量子化ビット数	16/20/24bit(直線)

● 対応メディア

DVD-Video	DVD-R, DVD-RWはVRモードも対応
CD-DA	8cmCD非対応
CD/DVD 音声	MP3, WMA, AAC, WAV, FLAC, Vorbis
USB/SD 音声	MP3, WMA, AAC, WAV, FLAC, Vorbis
映像	MPEG-4 Video, H.264/MPEG-4 AVC, WMV

● 電源 / 寸法 / 重量

電源電圧	14.4V(10.5V～16V)
最大消費電流	15A
使用温度範囲	-10～+60℃
本体	外形寸法(幅×高さ×奥行): MDV-L407W 206mm×104mm×174mm MDV-L407 180mm×100mm×183mm 埋込寸法(幅×高さ×奥行): 178mm×100mm×160mm 質量(重さ): 2.3kg
GPSアンテナ	外形寸法: 36mm×12.8mm×33mm ケーブル長:3.5m 質量(重さ):85g

● TVアンテナ

アンテナ形状	フィルム型
ケーブル長 (アンテナケーブル)	4.0m
アンテナ部 (エレメント外形 寸法)	117.5mm×86mm
重量(重さ) (ケーブル含む)	約40g

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともなう予告なく変更になる場合があります。

MEMO

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話、PHS からは 0570-010-114 (ナビダイヤル)
IP 電話などからは 045-450-8950
(受付時間などは、裏表紙を参照してください。)

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(→ P.64)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。
製品を修理のために、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機と一緒に持ち込まれるユニットなどがある場合は、ディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。

● 車両からの取り外し / 取り付けについて
修理をご依頼される場合は、製品を車両から取り外した状態でお買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターにお持ちください。
なお、保証期間の内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外しまたは取り付けした場合の作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

● 修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)
技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

保証規定

- 1.保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはJVC ケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
- 2.保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店またはJVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。なお、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
- 3.ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 4.ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

5.次の場合には保証期間内でも有料になります。

- (1) 本保証書のご提示のない場合。
- (2) 本保証書に形名 / 製造番号の印字のない場合、または字句を書き替えられた場合。
- (3) 本保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
- (4) 使用上の誤り、結露や水濡れあるいは不当な改造、修理、加工による故障および損傷。(取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、責任を負いません。)
- (5) 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
- (6) お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障および損傷。
- (7) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。
- (8) 一般車載用途以外に使用された場合の故障および損傷。(例えば、業務用の長時間使用、船舶<船舶用製品を除く>、直流電源装置を用いた一般家庭での使用等)
- (9) 製造番号の改変および、取り外した製品。
- (10) 消耗部品 (例えば、SD メモリーカード、乾電池、充電池等) の交換。
- (11) 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
- (12) 予告なく変更や追加される、あるいは規格の異なる記録媒体、アプリケーション、コンテンツ、放送および電源電圧による不具合。(インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく休止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。)

6.本保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

7.本保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

- ※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡します。
- ※ 本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。
- ※ 保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店またはJVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
- ※ 本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

形名／製造番号		※お買い上げ日	
		年 月 日	
		保証期間（お買い上げ日より）	
		本本： 1 年	
※お客様	お名前		
	様		
※販売店	ご住所 〒		
	電話番号 ()		
※販売店	店名・住所		
	電話番号 ()		

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状況で万が一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 無料修理の条件について、詳しくは本ページ裏側の「保証規定」をご覧ください。
- 修理は、本保証書を添えてお買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
 0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)
 045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308
 住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
 受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00
 土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30
 (日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

